取扱説明書

コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 SS-NT1MD

省エネ設計

電源「切」時(省エネモード時)
消費電力0.8W

―お買い上げありがとうございます―

⚠ **ご使用の前に**

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に④～⑦ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0935-001C

もくじ

もっともよく使う機能に [よく使います！] のマークをつけてあります。これだけでひととおり使いこなせます。

はじめに ページ

接続 ページ

共通操作 ページ

ラジオを聞く ページ

CDを聞く ページ

MDを聞く　ページ

MDを編集する　ページ

他の機器の音声を聞く　ページ

録音する　ページ

Net MD　ページ

ご参考に　ページ

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

• 煙が出ている、へんなにおいがするとき

電源プラグを抜く

• 内部に水や異物が入ってしまったとき
• 落としたり、破損したとき
• 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

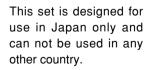
接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

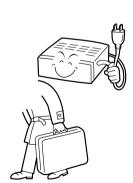
通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

おもな特長

MD長時間ステレオ録音/再生(MDLP)

音声圧縮方式「ATRAC3」の採用により、ステレオ2倍、4倍の録音/再生(MDLP)機能があります。80分のMDの場合、LP2モードで約160分、LP4モードで約320分の録音、再生ができます。

CDからMDへの高速録音機能

本機では、CDをMDに等速/2倍速/4倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2または約1/4の時間で録音することができます。
倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。(➡ 97 ページ)

OFCスピーカーコード

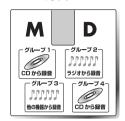
OFCとは、Oxygen Free Copperの略で、無酸素銅のことです。従来のスピーカーコードに比べて、高音質でお楽しみいただけます。

ワンタッチ録音

本体の MD REC を押すだけで簡単に録音できるワンタッチ録音方式です。

グループ録音

本機ではいずれのソースから録音したときも、録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます。

グループ録音のイメージ図

USBオーディオ

パソコン上の曲を再生し、その音声を本機で聞くことができます。(➡ 81 ページ)。

高効率・高音質デジタルアンプ

高効率で地球環境に優しいデジタルアンプを搭載しています。さらに当社で開発した「ハイブリッド・フィードバックテクノロジー」を盛り込むことにより、従来のデジタルアンプを大きく上回る高音質を実現しました。

Net MD

Net MDとは

MD機器とパソコンをUSBケーブルでつないで、パソコン上の曲をMDに高速で転送する仕組みを、「Net MD(ネット)」と呼びます。「OpenMG(オープン)」という著作権保護技術の採用により、著作権者の利益を損なうことなく、曲の保存/再生が可能となります。

チェックイン/チェックアウト

付属のソフトウェア「INTERJUKE(インタージューク)」を使って、本機のMDとパソコンの間で曲を転送できます。パソコンに保存されている曲をMDへ転送することを「チェックアウト」、チェックアウトした曲をMDからパソコンへ戻すことを「チェックイン」といいます。

MDの編集/管理

「INTERJUKE」を使って、パソコン上で、MDの編集、管理ができます。詳しくは「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。

Net MDでできること

・オリジナルMDを簡単、スピーディーにつくる

「INTERJUKE」を使って、CDからお気に入りの曲だけを集めたり、好きなタイトルをつけたりして、オリジナルのMDを簡単に、スピーディーに作ることができます。

・ネットワークミュージックを楽しむ

電子音楽配信サービス(EMD)や、お手持ちの音楽CDからパソコンに曲を保存して、そこから聞きたい曲だけをMDに転送することができます。
本機だけでなく、お手持ちのポータブルMDプレーヤー、カーオーディオなどでも再生できます。

・大量の曲を一括管理する

音楽CD、MDなどの曲を、パソコンのハードディスク上で一括管理することができます。

コンポコントロール

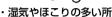
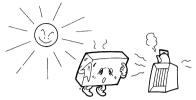
パソコンから本機を操作できます。(➡ 98、99 ページ)

ご使用になる前に

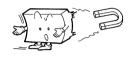
本機やCD、MDの置き場所について

故障などを防止するため次の場所は避けてください。

使用環境温度は、5℃～35℃です。5℃～35℃の範囲外の温度でご使用になると、正しく動作しない、または故障の原因になることがあります。

・湿気やほこりの多い所

・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば

・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば

・傾いた所
・不安定な所

・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

ヘッドホンについて

ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

露がついたら

次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いてCDやMDが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

付属品

お使いになる前に付属品をお確かめください。

AM アンテナ（1個）

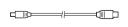
FM アンテナ（1本）

リモコン（1個）（RM-SSSNT1MD-S）

単３形乾電池（2本）（リモコン動作確認用）

スピーカーコード（2本）

本体、スピーカー取扱説明書（本書）（1冊）

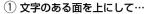
INTERJUKE 取扱説明書（1冊）

USB ケーブル（1本）

INTERJUKE CD-ROM（1枚）
※パソコン用です。本機では再生できません。

CD について

CDの取り扱いかた

• ケースからの出し入れ

① センターホルダーを押さえ

② 演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

① 文字のある面を上にして…

② 上から押さえて入れる。

• CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
• CDは曲げないでください。

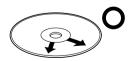
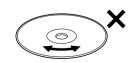
• 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable のいずれかのマークが入っている CD をお使いください。

• DVD やビデオ CD は再生できません。

• 本機ではCD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

• ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

• シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

CD-R/CD-RWディスクについて

• 音楽用の CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW ディスクが演奏できます。
ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより演奏できないことがあります。
• ファイナライズ処理されているディスクに限り演奏できます。
• CD-R/CD-RW ディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
• MP3などの音声ファイルの再生またはCDテキストの表示には対応しておりません。
• 音楽用の CD フォーマット以外で記録したことのある CD-RW ディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

MDについて

MDの取り扱いかた

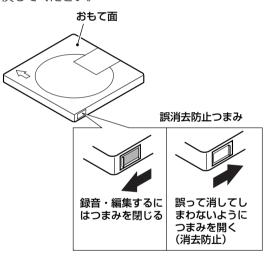
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。録音や編集ができなくなります。録音や編集をするときは、閉じた状態に戻してください。

<お知らせ>

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。
  間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。
- すでにMDが入っているとき（ MD が 点灯しているとき）は、新たに MD は入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、MDを入れることはできません。

「WRITING」が表示されているときは

録音や編集をしたあと、本機がその内容を MD に書き込んでいるときに表示されます。このとき、**本機に振動を与えないでください。**演奏できなくなるおそれがあります。

本体のお手入れ

本体が汚れてきたら柔らかい布でからぶきしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、後はからぶきしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
  他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書きにしたがってください。

スピーカーについて

本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしたスピーカーですが、設置方法によっては色むらを生ずる場合もありますので、設置の際は次の点に注意してください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、かならずテレビの主電源スイッチを切った状態で設置してください。
   なお、テレビの主電源スイッチは、切ってから少なくとも 30 分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によって万一色むらが生じた場合は、テレビから 10cm 以上離して設置してください。

各部の名称 —□内の数字のページに説明があります。—

本体

＜上面＞

CDランプ（内側） 25

CD ドア（電動） 34
開閉動作しているあいだは音声が出ません(すべてのソース)。ピックアップ保護のため、CDを出し入れするとき以外は閉じておいてください。

≜ CD ボタン 25 34

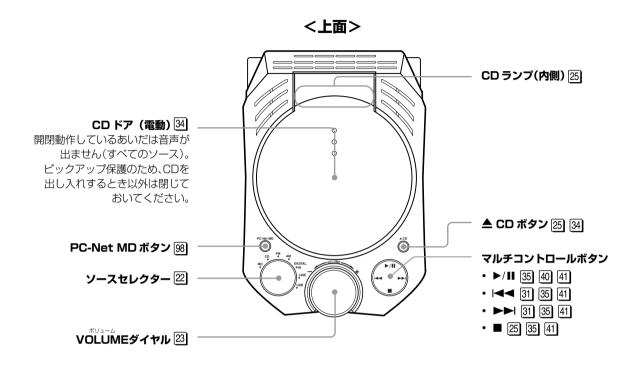
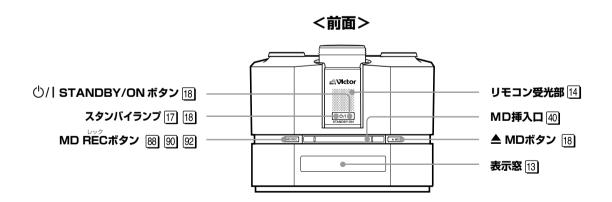
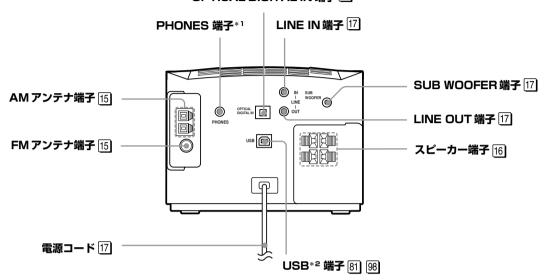
PC-Net MD ボタン 98

マルチコントロールボタン
- ▶/II 35 40 41
- I◀◀ 31 35 41
- ▶▶I 31 35 41
- ■ 25 35 41

ソースセレクター 22

VOLUME（ボリューム）ダイヤル 23

＜前面＞

<背面>

*1 ステレオミニプラグ付きのヘッドホン(市販品)を接続します。スピーカーの音は出なくなります。

*2 USB は Universal（ユニバーサル） Serial（シリアル） Bus（バス） の略です。

表示窓

*1 MDが入っているときに点灯します。

*2 CDが入っているときに点灯します。(ソースがFMまたはAMのときにCDを入れた場合は点灯しません。)

*3 点灯時に録音すると、1回の録音を1つのグループとして録音します。

各部の名称（つづき）

リモコン

数字ボタン
- ラジオ(FM/AM) 32
- CD 34 36
- MD 40 42
- タイトル入力 54

AUTO PRESET ボタン 32

▲ ボタン 31 34 40

TITLE/EDIT ボタン 50 56 〜 64

SET ボタン 20 50 56

DOWN ◀ ボタン 20 26 32 34 40 50 56 66

GROUP TITLE/EDIT ボタン 52 66 〜 78

▼ボタン 31 34 40

MD ▶/❚❚ ボタン 40

CD ▶/❚❚ ボタン 34 90

USB ボタン 81 87

■（停止）ボタン 35 41

GROUP I<<、>>I ボタン 46 68

GROUP REC ボタン 96

押すごとに表示窓の「GR.」表示が消灯／点灯します。

CLOCK/TIMER ボタン 20 26 28

REC TIME ボタン 88 90 92

A. P. off ボタン 19

REC SPEED ボタン 90

DIMMER ボタン 25

STANDBY/ON ⏻/I ボタン 18

CD DOOR ▲ ボタン 34

DISP/CHARA ボタン 21 32 34 41 48 54 89 90 92

CANCEL ボタン 20 26 36 42 50 56 66

REC LEVEL/ENTER ボタン 49 〜 53 57 〜 79 94 95

UP ▶ ボタン 20 26 32 34 40 50 56 66

TITLE SEARCH ボタン 48

DIGITAL IN/LINE ボタン 80 86 92

FM/AM ボタン 31 88

REPEAT ボタン 39 45

FM/PLAY MODE ボタン 31 36 38 42 44 46

AHB Plus ボタン 24

BASS/TREBLE ボタン 24

SLEEP ボタン 30

VOLUME＋、－ボタン 23 24

FADE MUTING ボタン 23

STANDBY/ON ⏻/I
ア・記号 カ・ABC サ・DEF
1 2 3
タ・GHI ナ・JKL ハ・MNO
4 5 6
マ・PQRS ヤ・TUV ラ・WXYZ
7 8 9
AUTO PRESET
10 0 +10
CD DOOR
DISP/CHARA
CANCEL
TITLE/EDIT
ENTER
REC LEVEL
DOWN
SET
UP
GROUP TITLE /EDIT
TITLE SEARCH
MD CD FM/AM DIGITAL IN / LINE
USB
FM/PLAY MODE
REPEAT
GROUP
AHB Plus
GROUP REC
CLOCK / TIMER
BASS / TREBLE
REC TIME
A.P.off
SLEEP
REC SPEED
DIMMER
FADE MUTING
VOLUME
Victor

リモコンに乾電池を入れる

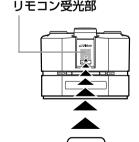
1 裏ブタをはずす

2 乾電池を入れる

単３形乾電池２本を入れます。
リモコン内部の表示に合わせて、極性（⊕、⊖）を正しく入れて下さい。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。

3 裏ブタをしめる

リモコンの操作

リモコン受光部に向けて操作します。
- 操作可能な距離は、リモコン受光部より約７m ですが、斜めから操作すると短くなります。

リモコン受光部

お知らせ

- 操作できる距離が短くなったときは、乾電池が消耗してきています。
2本とも新しい乾電池（単3形アルカリ乾電池など）に、交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 他のラジオに雑音が入るときは、ラジオから離してお使いください。
- 次のような状況では動作しないことがありますが故障ではありません。
  - ・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき
  - ・リモコン受光部の前に障害物があるとき

接　続　—接続が終わるまで電源は入れないでください。—

アンテナの接続

ラジオを聞くためにアンテナを接続します。

<背面>

IN
LINE
OUT
SUB WOOFER
OPTICAL DIGITAL IN
PHONES
USB

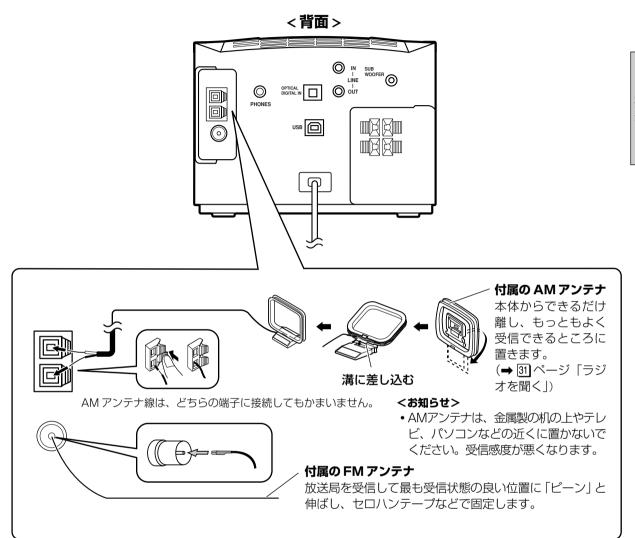
付属の AM アンテナ
本体からできるだけ離し、もっともよく受信できるところに置きます。
(➡ 31 ページ「ラジオを聞く」)

溝に差し込む

AM アンテナ線は、どちらの端子に接続してもかまいません。

<お知らせ>

- AMアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

付属の FM アンテナ
放送局を受信して最も受信状態の良い位置に「ピーン」と伸ばし、セロハンテープなどで固定します。

(参考)・付属のアンテナで FM 放送がうまく受信できないとき
・マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

屋外アンテナを接続します。

スピーカーの接続

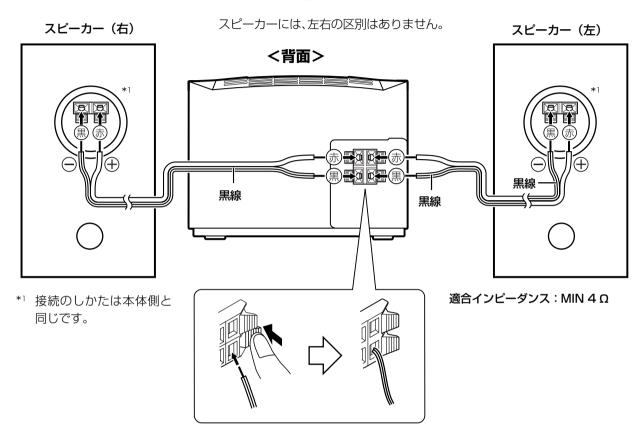
付属のスピーカーコード（OFC スピーカーコード ➡ 8 ページ）でスピーカーを接続します。

スピーカー（右）　スピーカーには、左右の区別はありません。　スピーカー（左）

＜背面＞

赤　黒　黒線　*1　⊖　⊕

*1 接続のしかたは本体側と同じです。

適合インピーダンス：MIN 4 Ω

接続の確認

スピーカーコードを軽く引いても抜けないことを確認してください。

ご注意

- 黒線のあるコードと黒線のないコードを逆に接続しないでください。ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 十分な冷却効果を得るために、本体の両側にスピーカーや他の物を置くときは、1cm以上間隔をあけてください。
- スピーカー端子の「⊕」と「⊖」をショート（金属で直接つなぐこと）しないでください。故障の原因となります。
- 他のスピーカーとは一緒に接続しないでください。インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

スピーカーネットの外しかた

スピーカーネットは、外すことができます。

電源コード・他の機器の接続

電源を「入」/「切」にする

よく使います！

<本体上面>

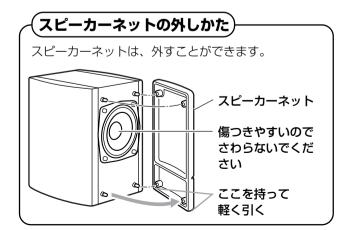
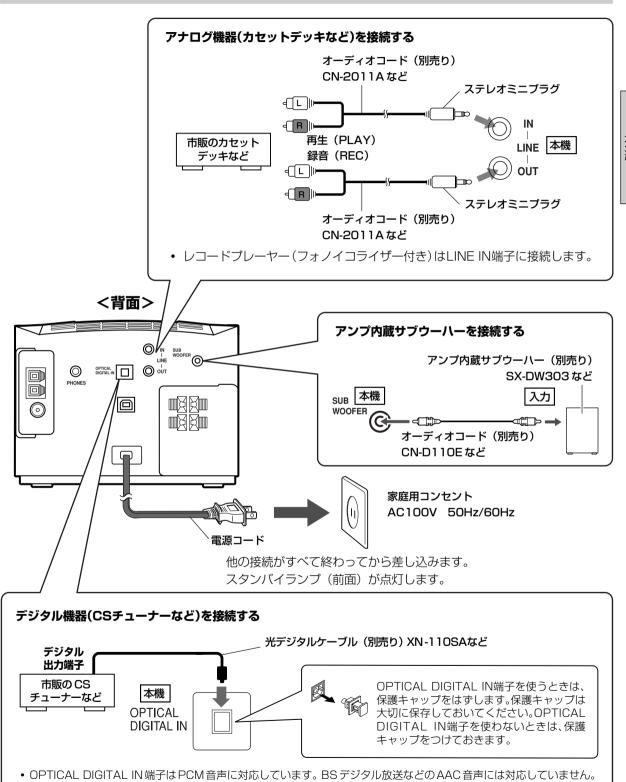
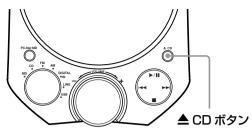
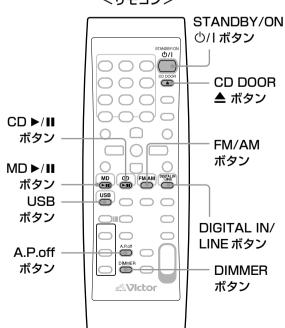
<本体前面>

スタンバイランプ　⏻/I STANDBY/ON ボタン

Victor

STANDBY/ON

MD REC

▲ MD

▲ MD ボタン

<リモコン>

電源を「入」にする

電源が「切」のときに ⏻/I STANDBY/ON （本体）または STANDBY/ON ⏻/I （リモコン）を押します。

スタンバイランプが消灯し、「HELLO（ハロー）」が表示されます。

次のボタンを押しても電源を「入」にできます。

▲ CD （本体）、CD DOOR ▲ （リモコン）

CD ドアが開きます。
CD が入っているときは、CD が取り出せます。

▲ MD （本体）

MD が入っているときは、MD が取り出せます。

MD ▶/❚❚ （リモコン）

ソースが MD になり、MD が入っているときは演奏が始まります。

CD ▶/❚❚ （リモコン）

ソースがCDになり、CDが入っているときは演奏が始まります。

FM/AM （リモコン）

ソースが FM または AM になり、前回聞いていた放送局を受信します。

DIGITAL IN / LINE （リモコン）

ソースが OPTICAL DIGITAL IN 端子または LINE IN 端子に接続した機器になります。

USB （リモコン）

ソースが USB になります。

電源を「切」にする

電源が「入」のときに ⏻/I STANDBY/ON （本体）または STANDBY/ON ⏻/I （リモコン）を押します。

スタンバイランプが点灯し、「SEE YOU（シー ユー）」が表示されます。

AUTO POWER OFF（オート パワー オフ）

ラジオ (FM/AM) 以外のソースで無音状態が 3 分以上続くと、自動で電源を「切」にできます。

FM/AM 以外のソースのときに

1 A.P.off **を押す**

押すごとに次のように変わります。

A.P.off SET （設定）

↕ 無音状態になるとA.P.offが点滅し、時間をゼロから数え始めます。その後３分間、何の操作もしないと自動で電源が「切」になります。３分以内に操作するとA.P.offが点灯になり、時間がゼロに戻ります。設定中は上記の動作を繰り返します。

A.P.off STOP （解除）

- 「A.P.off」は「Auto Power off」の略です。

お知らせ

- お買い上げ時は、AUTO POWER OFF は設定されていません。
- 音量（ボリューム）を0に調節した状態は、AUTO POWER OFFでいう「無音状態」ではありません。
- 録音中はAUTO POWER OFFははたらきません。
- 電源が「切」になる20秒前になると「A.P.off 20 sec」が表示され、カウントダウンします。

省エネモード

省エネモードにすると電源を「切」にしているときの消費電力を約 0.8W におさえることができます。

電源「切」のときに

1 DIMMER **を押す**

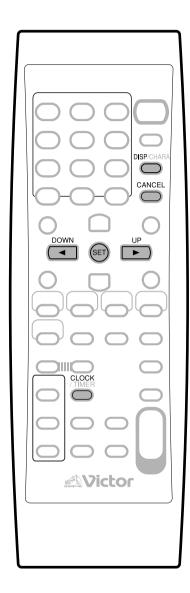
押すごとに次のように変わります。

DISPLAY ON：電源「切」のとき時計・タイマーを表示する

↕

DISPLAY OFF（省エネモード）：電源「切」のとき時計・タイマーを表示しない

- お買い上げ時はDISPLAY ONになっています。
- 省エネモードは電源「切」のときのみ有効です。

時計を合わせる／見る

時計を合わせる

例：15時20分（午後3時20分）に合わせるとき

電源「入」「切」どちらのときでも

1 CLOCK/TIMER を押す

「時」（点滅）　0:00　時計マーク（点滅）

2 DOWN ◄ または UP ► を押して「時」を入力する

例: 15:00　点滅　点滅

• 押し続けると、連続して変わります。

3 SET を押す

例: 15:00　点滅　「分」（点滅）

•「時」が設定されました。

• CANCEL を押すと手順2に戻れます。

4 DOWN ◄ または UP ► を押して「分」を入力する

例: 15:20　点滅　点滅

• 押し続けると、連続して変わります。

5 SET を押す

ADJUST OK!　点灯

⬇

（電源「入」のとき）
ソース表示

（電源「切」のとき）
15:20

• 設定した時刻の0秒から時計が動きはじめます。

• 117（電話）などの時報に合わせて押すと正確にできます。

時計を見る

1 DISP/CHARA

を押す

CDまたはMDの演奏中、ラジオを聞いているときなど、使用中に DISP/CHARA をくり返し押すと、時計を表示させることができます。

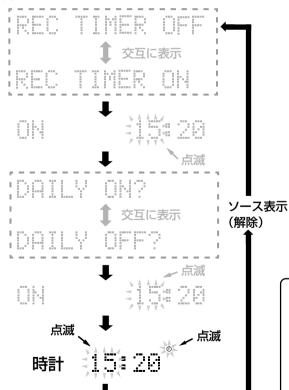
時計がずれたら(修正のしかた)

電源「入」「切」どちらのときでも

1 CLOCK /TIMER

をくり返し押して時計を表示させる

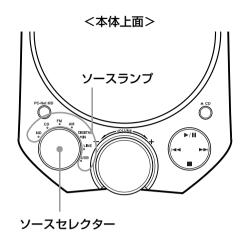
押すごとに次のように変わります。

例：

2 **20ページ「時計を合わせる／見る」手順2～5をおこなう**

お知らせ

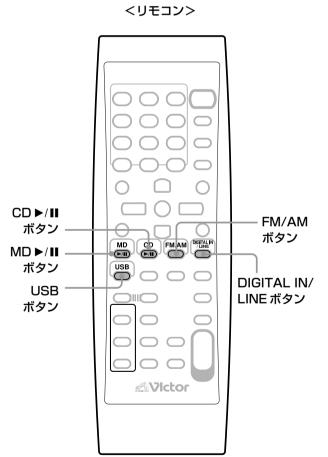
- 本機を省エネモード（➡ 19ページ）でお使いのときは、省エネモードを DIMMER で解除(DISPLAY ONに)するか、電源を「入」にして操作してください。
- 本機の時計は、24時間表示です。
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。
- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、「0:00」の点滅表示に戻ることがあります。このようなときは、もう一度時計を合わせてください。

ソースを切り換える

ソースとは音源のことです。たとえば CD を聞きたいときはソースを CD にします。

本体で切り換える

ソースセレクターを回すとソースが次のように変わります。

MD ↔ CD ↔ FM ↔ AM ↔ DIGITAL IN ↔ LINE ↔ USB

- 選ばれたソース名が本体の表示窓に表示され、ソースランプが点灯します。

リモコンで切り換える

MD ▶/❚❚ ：MD を聞くとき *1

CD ▶/❚❚ ：CD を聞くとき *2

FM/AM ：FM または AM放送を聞くとき

：OPTICAL DIGITAL IN 端子や LINE IN 端子に接続した機器の音声を聞くとき

USB ：USB 端子に接続したパソコンの音声を聞くとき

*1 本機に MD が入っているときのみ、ソースが切り換わり、演奏が始まります。

*2 本機に CD が入っているときのみ、ソースが切り換わり、演奏が始まります。

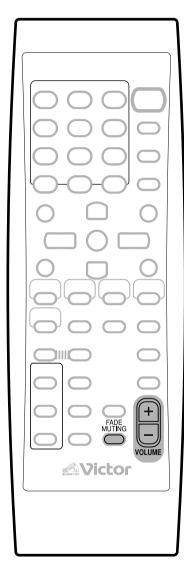
音量を調節する

よく使います！

音量(VOLUME)を調節する

ボリューム

電源「入」のときに

1 **または VOLUME を押す**

押し続けると連続して変わります。
0～50の範囲で調節できます。

例： VOLUME 12

- 録音される音には影響ありません。
- 本体のVOLUMEダイヤルでも調節できます。

ご注意

- 電源を入れたとき、いきなり大きな音が出るのを避けるため、電源を「切」にする前に音量を小さくしておいてください。

音を一時的に消す

電源「入」のときに

1 FADE MUTING **を押す**

音量が徐々に下がって0になります。

点滅

FADE MUTING

- もう一度 FADE MUTING を押すと音量が徐々に上がり、もとの音量に戻ります。
- FADE MUTING中に音量（VOLUME）を調節したときは、FADE MUTINGは解除されます。
- 録音される音には影響ありません。

お知らせ

- FADE MUTINGで音を一時的に消した時、AHB Plus（➡24ページ）またはBASS/TREBLE（➡24ページ）を調節すると、FADE MUTING を押して音をもとに戻そうとしてもVOLUME 0のままになります。音量（VOLUME）で調節してください。

お好みの音質にする

BASS(低音)とTREBLE(高音)を調節する

電源「入」のときに

1 BASS / TREBLE **を押す**

押すごとに次のように変わります。

BASS ➡ TREBLE➡ ソース表示(解除)

例：BASS を選んだとき

BASS 0

2 (表示が消えないうちに)

VOLUME **または** **を押す**

−５〜＋５の範囲でレベルを調節できます。

例：BASS のレベルを＋３にしたとき

BASS +3

- 調節が終わったら、ソース表示に戻るまで（約５秒)待つか、BASS / TREBLE を押してソース表示に戻すと解除されます。VOLUME＋、−ボタンが音量調節用に戻ります。
- 本体の VOLUME ダイヤルは使えません。
- レベルを調節するとき音声が途切れますが故障ではありません。

重低音を強調する(スピーカーで聞く場合)

電源「入」のときに

1 AHB Plus **を押す**

押すごとに次のように変わります。

AHB ON ➡ AHB Plus ➡ AHB OFF（解除)

- 「AHB Plus＊」は「AHB ON」より重低音の量感が増します。
- AHB ON または AHB Plus のときは BASS が点灯します。

例：AHB ON を選んだとき

BASS
AHB ON

＊ **AHB Plus とは**

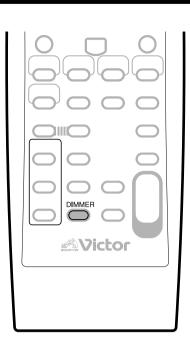
Active Hyper Bass Plus の略です。
クリアで迫力のある重低音が楽しめます。

- ヘッドホンの音には効果がありません。

お知らせ

- 調節した音質（BASS、TREBLE、重低音）は録音される音には影響ありません。

表示窓を暗くする［DIMMER］

（ディマー）

電源「入」のときに

1 DIMMER **を押す**

押すごとに次のように変わります。

DIMMER OFF➡DIMMER 1➡DIMMER 2
（明るい）　（少し暗い）　（暗い）

お知らせ

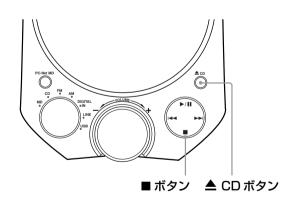
- 「DIMMER 1」にするとCDランプも暗くなり、「DIMMER 2」にすると消灯します。
- 停電や電源コードを抜いたときは、お買い上げ時の設定に戻ります。
- お買い上げ時は、DIMMER OFFに設定されています。

CDやMDを取り出せないようにする［チャイルドロック］

小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

電源「切」のときに

1 **（本体）**

押したまま　　押す

LOCKED

- チャイルドロックすると、CDドアを開けようとしたりMDを取り出したりしようとすると、「LOCKED」が表示し、CDドアは開かずMDは出てきません。

解除したいときは

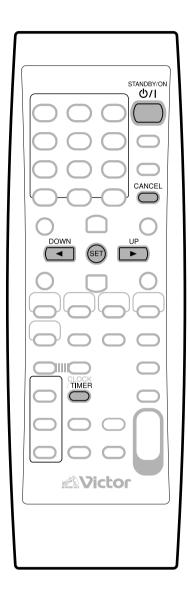
もう一度、電源が「切」のときに手順1の操作をします。

UNLOCKED

お知らせ

- チャイルドロックした場合でも、MDの取り出しやCDドアの開閉以外は通常どおりご使用になれます。

タイマー

前もって時計を合わせておいてください。(➡ 20 ページ)

> **ご注意**
> - **REC タイマーは、電源が「切」のときだけ動作します。**
>   電源が「入」のときは、開始時刻になっても動作しません。

録音タイマー[REC(レック)タイマー]

電源「入」のときに

1 録音用の MD を MD 挿入口に入れる

MD は誤消去防止つまみを閉じておいてください。(➡ 11 ページ)

2 CLOCK/TIMER を押す

タイマー表示(点滅) REC

REC TIMER ON

↕ 交互に表示

REC TIMER OFF

- 押しすぎたときは、さらにくり返し押して、もう一度表示させせます。

3 CLOCK/TIMER を押す

点滅 点滅 REC

例：ON 7:30

- 押しすぎたときは、さらにくり返し押して、もう一度表示させせます。

DOWN ◄ と UP ► は選択に、SET は決定に使います(手順4～7)

4 開始時刻を設定する

「時」を選んでから ➡ SET を押す

「分」を選んでから ➡ SET を押す

例：開始時刻を午後 1 時 30 分にしたいとき

ON 13:30

- 間違えたときは CANCEL を押すと 1 つ前に戻れます(手順 5 ～ 7 も同様)。

5 終了時刻を設定する

開始時刻と同じ方法で設定します。

例：終了時刻を午後 2 時 30 分にしたいとき

OFF 14:30

6 ソースを設定する

1 FM、AM、LINE、DIGITAL INのいずれかを選ぶ

2 (SET) を押す

3（FMまたはAMを選んだときのみ）
プリセット番号（登録のしかたは➡ 32ページ）を選んでから (SET) を押す

- 「－－」を選ぶと、選んだバンド（FMまたはAM）で電源を「切」にする直前の放送になります。
- 数字ボタンは使えません。

7 録音モードを設定する

1 録音モード（SP、LP2、LP4）を選ぶ（➡ 89ページ）

2 (SET) を押す

「REC」が点灯し、設定した内容が順番に表示されます。

8 STANDBY/ON ⏻/I を押す

電源が「切」になります。

例：　7:40

- 本体の ⏻/I STANDBY/ON を押しても同じです。
- 設定後、1回だけ動作します。

次の日も同じ設定でタイマー録音したいときは

手順2のあと、(SET) を押します。「REC」が点灯し、前回と同じ設定内容が表示されます。

そのあと STANDBY/ON ⏻/I を押して電源を「切」にしてください。
RECタイマーは、動作を1回行うと解除されますが、設定した内容は記憶されています。

RECタイマーを解除したいときは

手順2のあとで CANCEL を押します。

「REC」が消灯します。設定内容は消えません。

設定内容を変えたいときは

手順2～7を行なって上書きしてください。

途中で操作をやめたいときは

CLOCK/TIMER を押します。

お知らせ

- 録音中の音量は0になり、スピーカーやヘッドホンから音声は出ません。
- 電源が「切」のときもRECタイマーを設定できます（省エネモード（➡ 19ページ）時を除く）。そのときは手順8は不要です。また電源が「切」のときは、手順1でMDを入れることはできません。
- 本機といっしょに他の機器をタイマー動作させることはできません。
- MDは、空き部分が充分あることを確認しておいてください。
- 設定した内容は、設定を変更するまで記憶されています。
- 電源コードを抜いたときや停電のときは、設定内容が消えることがあります。そのときは、もう一度設定してください。
- RECタイマーが動作中（開始時刻から終了時刻の間）に、VOLUME、BASS/TREBLE、AHB Plus以外の操作をすると、本機が自動でタイマーを解除し、終了時刻になっても引き続き使用できます。

タイマー（つづき）

前もって時計を合わせておいてください。（➡ 20ページ）

目覚ましタイマー[DAILY(デイリー)タイマー]

電源「入」のときに

1 CLOCK/TIMER **をくり返し押して**

タイマー表示（点滅）

DAILY ON?

交互に表示

DAILY OFF?

を表示させる

- 押しすぎたときは、さらにくり返し押して、もう一度表示させます。

2 CLOCK/TIMER **を押す**

- 押しすぎたときは、さらにくり返し押して、もう一度表示させます。

DOWN ◄ と UP ► は選択に、SET は決定に使います（手順３～７）

3 開始時刻を設定する

「時」を選んでから ➡ SET を押す

「分」を選んでから ➡ SET を押す

例：開始時刻を午前７時30分にしたいとき

ON　7:30

- 間違えたときは CANCEL を押すと１つ前に戻れます（手順４～７も同様）。

4 終了時刻を設定する

開始時刻と同じ方法で設定します。

例：終了時刻を午前８時15分にしたいとき

OFF　8:15

ご注意

- **DAILY タイマーは、電源が「切」のときだけ動作します。**
  電源が「入」のときは、開始時刻になっても動作しません。

5 ソースを設定する

1 FM、AM、CD、MD、LINE、DIGITAL INのいずれかを選ぶ

2 SET を押す

3 FMまたはAMを選んだとき

プリセット番号（登録のしかたは ➡ 32ページ）を選んでから SET を押す

- 「−−」を選ぶと、選んだバンド（FMまたはAM）で電源を「切」にする直前の放送になります。
- 数字ボタンは使えません。

CDまたはMDを選んだとき

（あらかじめCDまたはMDを入れておきます）

演奏を始めたい曲番号を選んでから SET を押す

- 「−−」を選ぶと1曲目から演奏します。

6 音量を設定する

音量（1〜50）を選んでから SET を押します。

7 フェードを設定する

「FADE（フェード）」または「NoFADE（ノーフェード）」を選んでから SET を押します。

FADE：開始時刻になると、設定した音量まで徐々に上がります。
NoFADE：開始時刻になると、設定した音量で音声が出ます。

- 「DAILY」が点灯し、設定した内容が順番に表示されます。

8 STANDBY/ON ⏻/I を押す

電源が「切」になります。

例： ⏻DAILY 21:05

- 本体の ⏻/I STANDBY/ON を押しても同じです。
- 電源を「切」にしておくと、毎日動作します。

DAILYタイマーを動作させたくないときは（休日の前夜など）

手順1のあとに CANCEL を押します。

「DAILY OFF」が表示され、「DAILY」（タイマー表示）が消灯します。
これでDAILYタイマーが解除されました。
設定の内容は記憶されています。

またDAILYタイマーを動作させたいときは（出勤・登校の前夜など）

手順1のあとに SET を押します。

「DAILY」が点灯し、前回設定した内容が順番に表示されます。

お知らせ

- 電源「切」のときもDAILYタイマーを設定できます（省エネモード（➡ 19ページ）時を除く）。そのときは手順8は不要です。
- 本機といっしょに他の機器をタイマー動作させることはできません。
- 手順5でCDまたはMDを選んだとき、プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏またはリピート演奏をすることはできません。
- 設定した内容は、設定を変更するまで記憶されています。
- 電源コードを抜いたときや停電のときは、設定内容が消えることがあります。そのときは、もう一度設定してください。
- DAILYタイマーが動作中（開始時刻から終了時刻の間）に、VOLUME、BASS/TREBLE、AHB Plus以外の操作をすると、本機が自動でタイマーを解除し、終了時刻になっても引き続き使用できます。

前もって時計を合わせておいてください。（➡ 20ページ）

おやすみタイマー[SLEEP（スリープ）タイマー]

電源「入」のときに

1 SLEEP を押す

SLEEP 10

押すごとに電源が「切」になるまでの時間が次のように変わります。

10（分）→ 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → OFF（解除）→ 10（分）

- 表示窓が暗くなり、CD ランプが消灯します。
- 設定した時間が経過すると自動で電源が「切」になります。

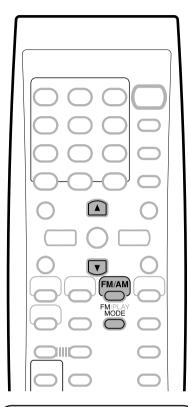
時間を変更したいときは

もう一度、手順 1 を行なってください。

お知らせ

- DAILY（➡ 28ページ）タイマーとSLEEPタイマーをいっしょに使うこともできます。この場合、DAILY タイマー➡SLEEP タイマーの順に設定してください。
- 電源を「切」にするか CLOCK/TIMER を押すと、SLEEP タイマーは自動で解除されます。

ラジオを聞く

よく使います！

例：FM 81.30MHz を選局したとき

ST.：FM ステレオ放送を受信すると点灯

MONO：FM モードをモノラル受信にすると点灯

ST. MONO

FM 1 81.30

バンド（FM または AM）

プリセット番号

周波数

お知らせ

- 付属のアンテナでうまく受信できないときは、屋外アンテナを接続してください。（➡ 15 ページ）
- 本機は、AM ステレオ放送には対応しておりません。（AM 放送はモノラル音声です）
- 本機は、テレビ 1ch：95.75MHz、2ch：101.75MHz、3ch：107.75MHzの音声を受信できます。

電源「入」「切」どちらのときでも

1 **FM/AM を押す**

ソースがラジオ（FM/AM）になり、押すごとにFM または AM に切り換わります。

- 本体のソースセレクターを回してFM/AMを選ぶこともできます（電源「入」のとき）。

2 **▲ または ▼ を押して選局する**

2 種類の方法があります。

手動選局：

▲ を押すと周波数が上がります。

▼ を押すと周波数が下がります。

FM 放送： 0.05 MHz ずつ 76.00MHz ～ 108.00MHz の範囲で選局できます。

AM 放送： 9kHz ずつ 531kHz ～ 1629kHz の範囲で選局できます。

自動選局：

▲ または ▼ を押し続け、周波数が変わり始めたら指を離します。放送を受信すると自動で止まります。

- 本体のマルチコントロールボタンの►►❘または❘◄◄ を押し（続け）ても同じです。

放送が雑音で聞きにくいときには

FM の場合

モノラル受信にすると聞きやすくなることがあります。

受信中に、FM/PLAY MODE を押す

押すごとに次のように変わります。

FM MONO（モノ）**：**（モノラル受信） モノラル音声になり、「MONO」表示が点灯します。

⬍

FM AUTO（オート）**：**（オート受信） ステレオ放送のときはステレオ音声、モノラル放送のときはモノラル音声に自動で切り換わります。
放送していない周波数の雑音をミューティング（低減）する機能も働きます。
通常は「FM AUTO」でお使いください。

AM の場合

受信中に、FM/PLAY MODE を押す

押すごとに次のように変わります。

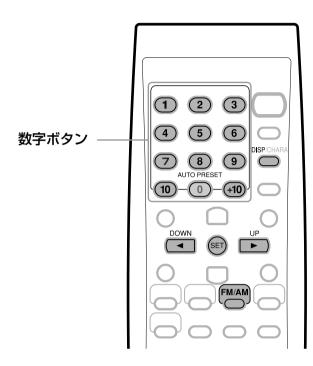
BEAT CUT（ビートカット）**1 ➡ BEAT CUT 2 ➡ BEAT CUT 3 ➡ BEAT CUT 1**

雑音が少ないところで放送を聞いてください（放送局によって異なります）。

- お買い上げ時はBEAT CUT 1に設定されています。

よく聞く放送局を登録する／呼び出す

よく使います！

よく聞く放送局をあらかじめ登録（Preset）し、簡単に呼び出すことができます。登録のしかたには、自動で受信した放送局を登録する「AUTO PRESET」と、放送局を１つずつ選んで登録する方法があります。

簡単に登録する(オートプリセット)

FM と AM を別々に登録します。

ソースが FM または AM のとき

1 AUTO PRESET

 を２秒以上押す

表示窓に「AUTO PRESET」が表示されたら指を離します。

お使いの場所で受信できる放送局が自動で登録され、プリセット番号と受信周波数が表示されます。

- 受信できる全ての放送局が登録されるかFM放送のときは放送局が30局登録されたとき、またAM放送のときは放送局が15局登録されたときにオートプリセットが終了し、それぞれのバンド（FMまたはAM）の１に登録した放送局が受信されます。
- 前に登録されていた放送局があっても、新しく登録された放送局が上書きされます。

放送局を１つずつ選んで登録する

登録したい放送局を受信中に

1 (SET) **を押す**

例：FM 82.50MHzの放送局を登録したいとき

プリセット番号（点滅）

FM 1 82.50

2 **点滅しているあいだに数字ボタンを押して、登録したいプリセット番号を入力する**

プリセット番号の入力方法

1～10 ：(1)～(10)のいずれかを押す。

11～20：(+10)を押してから、(1)～(10)のいずれかを押す。

- 20は(+10) ➡ (10)と押します。

21～30：(+10)を２回押してから、(1)～(10)のいずれかを押す。

例：プリセット番号５に登録したいとき

➡ (5) を押す

点滅

FM 5 82.50

- (0) は使いません。
- (DOWN ◄)または(UP ►)を押して選ぶこともできます。
- 同じプリセット番号をFMとAMでそれぞれ登録できます。
- 数字ボタンを押さないまま約５秒経過すると、操作はキャンセルされます。

3 **プリセット番号が点滅しているあいだに (SET) を押す**

STORED

⬇（数秒後）

FM 5 82.50

放送局が登録されました。

- (SET) を押さないまま約５秒経過すると、操作はキャンセルされます。

放送局を呼び出す

聞きたいバンド（FM または AM）を受信中に

1 数字ボタンを押して、呼び出したいプリセット番号を選ぶ

または

1 DOWN ◄ または UP ► を押して、呼び出したいプリセット番号を選ぶ

UP ► を押すごとにプリセット番号が進みます。押しつづけると早く進みます。

DOWN ◄ を押すごとにプリセット番号が戻ります。押しつづけると早く戻ります。

登録を変更したいときは

変更したい放送局を呼び出してから、「放送局を1つずつ選んで登録する」手順1～3を行なって上書きしてください。

表示を変えたいときは

DISP/CHARA を押すごとに次のように変わります。

例：

バンド表示と周波数

FM 81.30

↓

（MD が入っているとき）
録音可能な残り時間

REM. 1:20:59

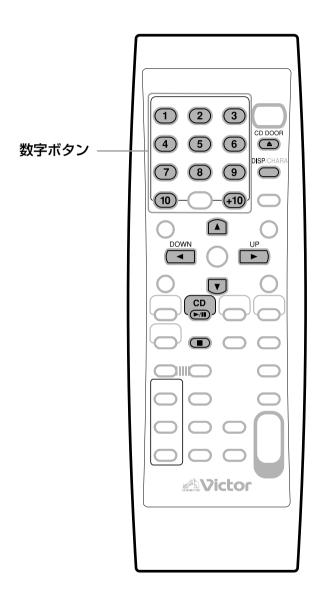
↓

時計

お知らせ

- FM 放送は30局、AM放送は15局まで登録できます。
- オートプリセットすると、雑音が多い放送局も登録されることがあります。
- 登録した放送局は、電源コードを抜いたり停電があると、消去されることがあります。このようなときは、もう一度登録してください。

CD を聞く

よく使います！

電源「入」「切」どちらのときでも

1 CD DOOR

を押す

CD ドアが開きます。

本体の ▲CD を押しても同じです。

2 CD を取り付ける

カチッと音がするまで軽く押してはめ込む

3 CD ▶/II **を押す**

CD ドアが閉まり、1 曲目から演奏が始まります。

例：

曲番号　演奏時間

CD　1　0:04

• 本体のマルチコントロールボタンの ▶/II を押しても同じです（ソースが CD のとき）。

途中の曲から聞きたいときは（ダイレクト演奏）

CDが演奏中または停止中に数字ボタンを押します。

1～10曲目を選びたいとき：

(1) ～ (10) のいずれかを押します。

11曲目以上を選びたいとき：

(+10) を押してから、(1) ～ (10) のいずれかを押します。

例：15曲目

(+10) ➡ (5)

例：20曲目

(+10) ➡ (10)

例：25曲目

(+10) ➡ (+10) ➡ (5)

表示を変えたいときは

DISP/CHARA

 を押すごとに次のように変わります。

例：

停止中

総曲数と総演奏時間 CD 24 1:01:18

⬇

（MDが入っているとき）

録音可能な残り時間 REM. 1:20:59

⬇

時計

演奏中

演奏中の曲番号と演奏時間 CD 1 0:04

⬇

（MDが入っているとき）

録音可能な残り時間 REM. 1:20:59

⬇

時計

CDを取り出す

▲CD

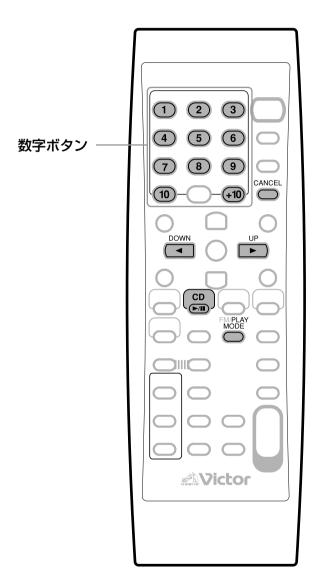
（本体）または CD DOOR (▲)（リモコン）を押してCDドアを開け、CDを取り出してから ▲CD ◯ または CD DOOR (▲) を押してドアを閉じます。

- CDドアが開いているときに STANDBY/ON（本体）または STANDBY/ON ⏻/I（リモコン）を押すと自動でドアを閉じてから電源が「切」になります。

	操作
停止する	(■) を押します。 • 本体のマルチコントロールボタンの■を押しても同じです。
一時停止する	演奏中に CD (►/II) を押します。 表示窓の演奏時間が点滅します。もう一度押すと、一時停止したところから演奏を再開します。 • 本体のマルチコントロールボタンの►/IIを押しても同じです。
頭出し	UP [►]：押すごとに次の曲の頭に移ります。 DOWN [◄]：演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに1曲ずつ戻ります。 • 本体のマルチコントロールボタンの►►Iまたは I◄◄を押しても同じです。 • 押し続けると1曲ずつ送られます。（演奏中はリモコンのみ） • 停止中に押すと曲ごとの演奏時間が表示されます。
早送り／早戻し	演奏中に (▲) または (▼) を押し続けます。 • 本体のマルチコントロールボタンの►►Iまたは I◄◄を押し続けても同じです。

お知らせ

- 8センチCDもそのまま（アダプターなしで）使えます。
- CD以外のソースの時、CDドアを開閉した場合CDドアの動作中は各ソースの音声は出なくなりますが故障ではありません。

CD を好きな曲順で聞く [CD PROGRAM]

CD が停止中に

1 FM/PLAY MODE を押す

- 押すごとに次のように変わります。（カッコ内はプレイモード表示）

- 「PRGM」は PROGRAM の略です。
- すでにプログラムされているときは、最後にプログラムした曲番号とプログラムした合計の演奏時間が表示されます。

2 **数字ボタンを押して曲番号を指定（プログラム）する**

（数字ボタンの使いかたは➡ 35 ページ「ダイレクト演奏」）

例：5 曲目をプログラム番号 1 に指定したとき

- 間違えたときは、CANCEL を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。
- 最大 32 曲までプログラムできます。
（33曲目を指定すると「MEMORY FULL」が数秒間表示され、これ以上プログラムできません。）
- 合計時間が 1 時間 40 分以上になると、表示は「−−：−−」になります（プログラムはできます）。

3 CD ►/II を押す

プログラムした曲順で演奏されます。
- 全曲の演奏が終わると、自動で停止します。
- 本体のマルチコントロールボタンの►/IIを押しても同じです。

お知らせ
- 電源を「切」にすると、記憶されているプログラムの内容はすべて消えます。
- プログラム演奏を解除してもプログラムの内容は記憶されます。ただしCDドアを開けると消えます。
- 同じ曲を何度もプログラムできます。

曲順を確認したいときは

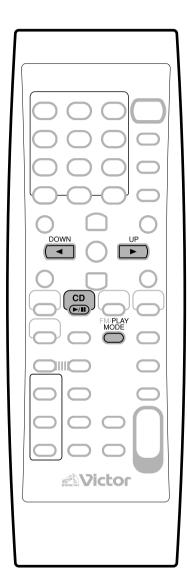
「PRGM」が点灯しCDが停止中に、UP ► (次の曲) または DOWN ◄ (前の曲) を押します。
- 本体のマルチコントロールボタンの►►Iまたは I◄◄は使えません。

プログラム演奏のモードを解除したいときは

CDが停止中に FM/PLAY MODE を押して、CD NORMALを選びます。(➡ 36 ページ手順1)
プログラムの内容は残ります。
- ただし、CDドアを開けたときや、電源を「切」にしたときはプログラムの内容は消えます。またプログラム演奏のモードも解除します。

プログラムをすべて消したいときは

「PRGM」が点灯しCDが停止中に、「ALL CLEAR!」が表示されるまで CANCEL を押し続けます。
- CDドアを開けたときや、電源を「切」にしたときもプログラムがすべて消えます。

CDをランダム（ランダム）な曲順で聞く [CD RANDOM]

CD が停止中に

1 FM/PLAY MODE **をくり返し押して**

を表示させる

- 押すごとに次のように変わります。（カッコ内はプレイモード表示）

→ CD PROGRAM (PRGM) → CD RANDOM (RANDOM) → CD NORMAL (消灯) →

2 CD ►/❚❚ **を押す**

ランダム演奏が始まります。

- 同じ曲が２度演奏されることはありません。全曲の演奏が終わると、自動で停止します。

ランダム演奏中の頭出し

UP ► を押すと次に演奏する曲の頭に移ります。

DOWN ◄ を押すと演奏中の曲の頭に戻ります。演奏中の曲より前の曲には戻れません。

- 本体のマルチコントロールボタンの ►►❙ または ❙◄◄ を押しても同じです。

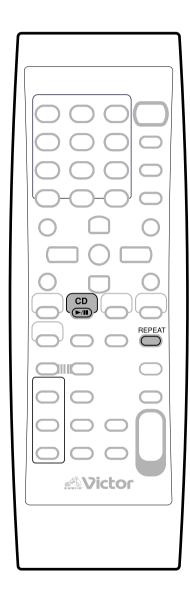
ランダム演奏のモードを解除したいときは

CD が停止中に FM/PLAY MODE を押して、CD NORMAL を選びます。

- CD ドアを開けたり、電源を「切」にしたときも解除します。

お知らせ

- CD ドアを開けたり、電源を「切」にするとランダム演奏は自動で解除されます。

CD をくり返し聞く [CD REPEAT]

CD を演奏中に

1 REPEAT **を押す**

押すごとに次のように変わります。

CD REPEAT ALL
：全曲リピート
全曲をくり返し
演奏します。

CD REPEAT 1
：１曲リピート
１曲をくり返し
演奏します。

CD REPEAT OFF
：解除

お知らせ

- CDが停止中のときもリピートを設定できます。そのときは手順１のあと、CDの演奏を始めてください。
- 全曲リピート演奏とプログラム演奏（➡ 36 ページ)を組み合わせると、プログラムされた全曲をくり返し演奏します。
- 全曲リピート演奏とランダム演奏(➡ 38 ページ)を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。曲順はくり返されるごとに異なります。

MDを聞く

よく使います！

電源「入」のときに

1 MDを入れる

MDに表示されているマークの方向に、マークのある面を上にして差し込みます。
途中まで入れると自動で引きこまれます。
表示窓に MD が点灯します。

2 MD ►/❚❚ を押す

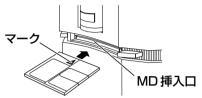
1曲目から演奏が始まります。

例：

録音（されたときの）モード（➡ 89 ページ）

曲番号　演奏時間

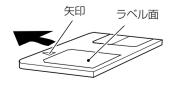
MD　LP2

MD　1　0:04

- 本体のマルチコントロールボタンの►/❚❚を押しても同じです（ソースがMDのとき）。

ご注意

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。
  間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。
- すでにMDが入っているとき（ MD が点灯しているとき）は、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、MDを入れることはできません。

お知らせ

- 録音モードが無表示のときはSPです。

途中の曲から聞きたいときは（ダイレクト演奏）

MD が演奏中または停止中に数字ボタンを押します。

1 ～ 10 曲目を選びたいとき：

(1)～(10) のいずれかを押します。

11 曲目以上を選びたいとき：

(+10) を押してから、(1) ～ (10) のいずれかを押します。

例：15 曲目

(+10) ➡ (5)

例：20 曲目

(+10) ➡ (10)

例：25 曲目

(+10) ➡ (+10) ➡ (5)

MD を取り出す

本体の [▲MD] を押します。

	操作
停止する	(■) を押します。 • 本体のマルチコントロールボタンの ■ を押しても同じです。
一時停止する	演奏中に MD (►/II) を押します。 表示窓の演奏時間が点滅します。 もう一度押すと、一時停止したところから演奏を再開します。 • 本体のマルチコントロールボタンの ►/II を押しても同じです。
頭出し	UP [►]：押すごとに次の曲の頭に移ります。 DOWN [◄]：演奏中の曲の頭に戻ります。 押すごとに 1 曲ずつ戻ります。 • 本体のマルチコントロールボタンの ►►I または I◄◄ を押しても同じです。 • 押し続けると 1 曲ずつ送られます（演奏中はリモコンのみ）。 • 停止中に押すと曲ごとの演奏時間と曲のタイトルが表示されます。
早送り／早戻し	演奏中に [▲] または [▼] を押し続けます。 • 本体のマルチコントロールボタンの►►I または I◄◄ を押し続けても同じです。

表示を変えたいときは

DISP/CHARA

( ) を押すごとに次のように変わります。

停止中

総曲数と総演奏時間（停止中の表示）
↓
総曲数と総グループ数
↓
ディスクタイトル
↓
時計

停止中に曲の頭出しをしたとき

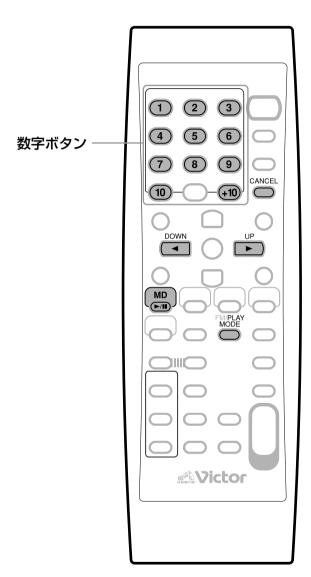
曲番号と演奏時間（停止中の表示）
↓
曲タイトル
↓
グループタイトル*（グループ管理されている MD のとき）
↓
時計

演奏中

曲番号と演奏経過時間（演奏中の表示）
↓
曲タイトル
↓
グループタイトル*（グループ管理されている MD のとき）
↓
時計

（* グループに登録されていない曲のときは「UNGROUP TRACK」が表示されます。）

• タイトルが 14 文字以上あるときは、スクロール表示（文字が右から左へ動いて表示されること）されます。

MD を好きな曲順で聞く [MD PROGRAM]

MD が停止中に

1 FM/PLAY MODE を押す

- 押すごとに次のように変わります。(カッコ内はプレイモード表示)

- 「PRGM」は PROGRAM の略です。
- すでにプログラムされているときは、最後にプログラムした曲番号とプログラムした合計の演奏時間が表示されます。

2 数字ボタンを押して曲番号を指定(プログラム)する

(数字ボタンの使いかたは➡ 41 ページ「ダイレクト演奏」)

例:5 曲目をプログラム番号 1 に指定したとき

- 間違えたときは、CANCEL を押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。
- 最大 32 曲までプログラムできます。(33曲目を指定すると「MEMORY FULL」が数秒間点滅し、これ以上プログラムできません。)
- 合計時間が 2 時間 30 分以上になると、表示は「−−:−−」になります(プログラムはできます)。

3 MD ►/II を押す

プログラムした曲順で演奏されます。
- 全曲の演奏が終わると、自動で停止します。
- 本体のマルチコントロールボタンの►/IIを押しても同じです。

曲順を確認したいときは

「PRGM」が点灯しMDが停止中に、UP ►（次の曲）または DOWN ◄（前の曲）を押します。

- 本体のマルチコントロールボタンの ►►I または I◄◄ は使えません。

プログラム演奏のモードを解除したいときは

MDが停止中に FM/PLAY MODE を押して、MD NORMAL を選びます。（➡ 42 ページ手順 1）
プログラムの内容は残ります。

- ただし、MD を取り出したときや、電源を「切」にしたときはプログラムの内容は消えます。またプログラム演奏のモードも解除します。

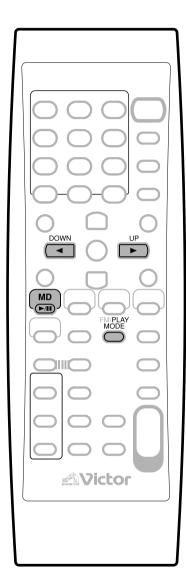
プログラムをすべて消したいときは

「PRGM」が点灯しMDが停止中に、「ALL CLEAR！」が表示されるまで CANCEL を押し続けます。

- MDを取り出したときや、電源を「切」にしたときもプログラムがすべて消えます。

お知らせ

- プログラム演奏中は、GROUP I◄◄ ►►I を押して他のグループを選ぶことはできません。
- 電源を「切」にすると記憶されているプログラムの内容はすべて消えます。
- プログラム演奏を解除してもプログラムの内容は記憶されます。ただし MD を取り出すと消えます。
- 同じ曲を何度もプログラムできます。

MDをランダムな曲順で聞く[MD RANDOM(ランダム)]

MD が停止中に

1 FM/PLAY MODE をくり返し押して

プレイモード

を表示させる

- 押すごとに次のように変わります。(カッコ内はプレイモード表示)

(PRGM) MD PROGRAM → (RANDOM) MD RANDOM → (GROUP) MD GROUP → (消灯) MD NORMAL → MD PROGRAM

2 MD ►/II を押す

ランダム演奏が始まります。

- 同じ曲が2度演奏されることはありません。全曲の演奏が終わると自動で停止します。

ランダム演奏中の頭出し

UP ► を押すと次に演奏する曲の頭に移ります。

DOWN ◄ を押すと演奏中の曲の頭に戻ります。演奏中の曲より前の曲には戻れません。

- 本体のマルチコントロールボタンの ►►I または I◄◄ を押しても同じです。

ランダム演奏のモードを解除したいときは

MDが停止中に FM/PLAY MODE を押して、MD NORMALを選びます。

- MDを取り出したり、電源を「切」にしたときも解除します。

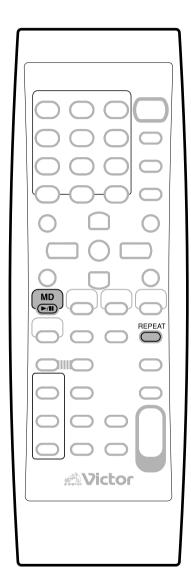
お知らせ

- ランダム演奏中は、GROUP I<< >>I を押しても他のグループを選べません。
- MDを取り出したり、電源を「切」にするとランダム演奏は自動で解除されます。

MDをくり返し聞く [MD REPEAT(リピート)]

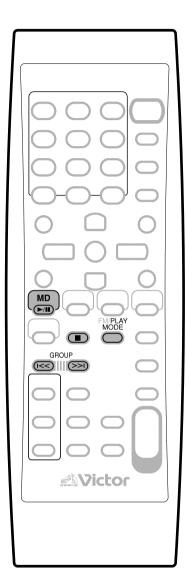
MDを演奏中に

1 REPEAT を押す

押すごとに次のように変わります。

お知らせ

- MDが停止中のときもリピートを設定できます。そのときは手順1のあと、MDの演奏を始めてください。
- 全曲リピート演奏とプログラム演奏（➡ 42 ページ）を組み合わせると、プログラムされた全曲をくり返し演奏します。
- 全曲リピート演奏とランダム演奏（➡ 44 ページ）を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。曲順はくり返されるごとに異なります。
- 全曲リピート演奏とグループ演奏（➡ 46 ページ）を組み合わせると、グループ内の全曲をくり返し演奏します。

聞きたいグループだけを演奏する［MD のグループ演奏］

グループとは

MD に録音されている曲を、アルバムやアーティストなどのまとまりに分けたものです。

例：

電源「入」のときに

1 グループ分けされている MD を入れる

- グループ分け（編集）の方法については 66 〜 79 ページをご覧ください。

2 MD ▶/II を押してから ■ を押す

ソースが MD になります。

- 本体のソースセレクターでMDを選んでも同じです。
- 手順1でソースがMDのときはこの操作は不要です。

3 FM/PLAY MODE をくり返し押して

プレイモード

GROUP

MD GROUP

を表示させる

- 押すごとに次のように変わります。（カッコ内はプレイモード表示）

→ MD PROGRAM（PRGM） → MD RANDOM（RANDOM） → MD GROUP（GROUP） → MD NORMAL（消灯） →

4 GROUP I<< >>I を押して、聞きたいグループを選ぶ

>>I を押すと次のグループを選べます。

I<< を押すと前のグループを選べます。

5 MD ▶/II を押す

選んだグループの最初の曲から演奏が始まります。

グループ内の全曲の演奏が終わると自動で停止します。

- 本体のマルチコントロールボタンの▶/IIを押しても同じです。

グループ演奏中に他のグループに移りたいときは

GROUP
I<< >>I を押します。

>>I を押すと次のグループ、I<< を2回押すと前のグループの最初の曲に移ります。

グループ演奏のモードを解除したいときは

- MDが停止中に FM/PLAY MODE を押して、MD NORMALを選びます。(➡ 46 ページ手順3)。
- グループ演奏中に 1 〜 10 、+10 のボタンを押すとグループ演奏が解除され(「GROUP」消灯)、その曲から通常の演奏になります。

お知らせ

- グループ演奏中に 1 〜 10 、 +10 のボタンを押すとグループ演奏が解除され(「GROUP」消灯)、その曲から通常の演奏になります。
- **手順4でグループ2を選んだときの表示例**

グループ2の最初の曲番号

MD 5 4:26

曲の演奏時間

⬇

グループタイトル表示＊
(グループにタイトルがつけられているときのみ)

⬇

MD 5 GR. 2

グループ番号

⬇

MD 5 4:26

＊ **グループタイトルが14文字以上のときはスクロール表示されます。**

MDを聞く

MD の曲やグループを検索する［TITLE SEARCH］

MD を演奏中または停止中に

1 TITLE SEARCH ◯ **を押す**

- 押すごとに次のように変わります。（カッコ内はタイトルサーチ表示）

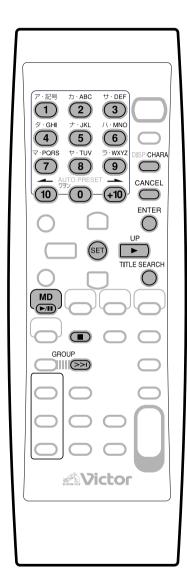
- 「TR.」は TRACK（曲）の、「T.」は TITLE の、「GR.」は GROUP の略です。

2 SET **を押す**

例：曲のタイトルを検索するとき

3 検索したいタイトルを入力する

（タイトル入力のしかたは ➡ 54 ページ）

- **タイトルの最初の 1 ～ 5 文字を入力**します。

例：曲のタイトル「My Song」を探すとき

点滅

TR.T.>My S

- 「M」だけ入力したときは、「M」で始まるタイトルの曲［グループ］を検索します。
- スペースも検索の対象ですが、後ろに文字が無いときは無視されます。
- 大文字と小文字は区別されます。「MY」と入力すると「My Song」は検索できません。

4 ENTER

 を押す

検索が始まります。

該当する曲［グループ］があるとき：

その曲［グループ］を演奏します。演奏が終わると、再び検索し始め、ほかにも該当する曲［グループ］があるときは、その曲［グループ］を演奏します。該当する曲［グループ］がなくなると「SEARCH(サーチ) END(エンド)」（サーチを完了しました）が表示され、タイトルサーチが自動で解除され、停止します。

- （TR. TITLE SEARCH のとき）
  演奏中に UP ▶ を押すと別の曲を検索し始めます。
- （GR. T. SEARCH のとき）
  演奏中に ⏭ を押すと別のグループを検索し始めます。
  グループ内の最後の曲を演奏中のときは UP ▶ を押しても同じです。

該当する曲［グループ］がないとき：

「NOT(ノット) FOUND(ファウンド)」（見つかりませんでした）が表示され、タイトルサーチが自動で解除されます。

タイトルサーチを途中で解除したいときは

TITLE SEARCH

 を押します。

- ■ または本体のマルチコントロールボタンの ■ を押しても解除できます。

お知らせ

- タイトルサーチをするとグループ、プログラム、ランダム、リピート演奏が解除されます。
- タイトルのついていない曲やグループも検索できます。そのときは手順３をとばして操作してください。
- 演奏中に手順１の操作をしたときは、自動で停止します。
- タイトルのつけ方は➡ 50 ページ「タイトルをつける」

タイトルをつける

ディスクにタイトルをつける

MD が停止中に

1 TITLE/EDIT ○ **を押す**

点滅

DISC TITLE?

• 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

点滅

3 **タイトルを入力する**

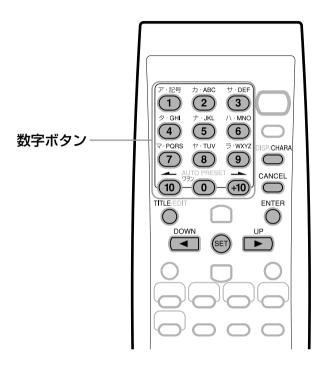
（タイトル入力のしかたは ➡ 54 ページ）

4 ENTER ○ **を押す**

ディスクにタイトルがつけられました。

5 ENTER ○ **を押す**

操作を途中でやめたいときは

TITLE/EDIT ○ を押します。

お知らせ

- 一度つけたタイトルを変えたいときは、もう一度手順 1 から操作して上書きしてください。
- 演奏中、または録音中もディスクにタイトルをつけることができます。

演奏中

・手順 1 で TITLE/EDIT ○ を押したあとに DOWN ◄ をくり返し押して「DISC TITLE?」を表示させてください。

録音中

・手順 1 で TITLE/EDIT ○ を押したあとに DOWN ◄ をくり返し押して「DISC TITLE?」を表示させてください。

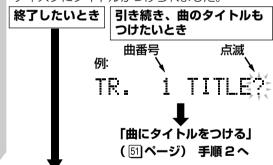
・手順４で ENTER ○ を押しても録音は続きます。

・録音が終了するまでに手順４の ENTER ○ を押してください。押さないと、入力したディスクタイトルは取り消されます。

曲にタイトルをつける

MDを演奏中に

1

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してやり直してください。

2 DOWN ◀ 、 UP ▶ 、**数字ボタンのいずれかを押して、タイトルをつけたい曲番号を表示させる**

（数字ボタンの使いかたは➡ 41 ページ「ダイレクト演奏」）

例：5曲目にタイトルをつけたいとき

点滅

TR. 5 TITLE?

曲番号

- 手順5で ENTER を押すまで、5曲目がくり返し演奏されます。

3 SET **を押す**

点滅

4 **タイトルを入力する**

（タイトル入力のしかたは➡ 54 ページ）

5

6 ENTER **を押す**

操作を途中でやめたいときは

TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

- 一度つけたタイトルを変えたいときは、もう一度手順1から操作して上書きしてください。
- 最後の曲にタイトルをつけたときは自動で終了します（手順6は不要です）。
- 停止中、または録音中も曲にタイトルをつけることができます。

停止中

・手順1では「DISC TITLE?」が表示されますが、以降の操作は同じです。ただし、操作中に曲は演奏されません。

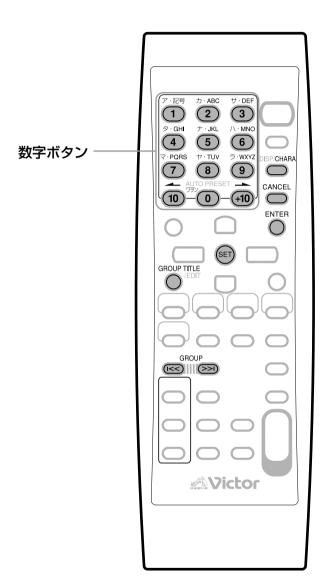
録音中

・演奏中と操作は同じです。ただし手順2の操作をしてもくり返し演奏にはなりません。録音のままです。

・手順5、6で ENTER を押しても録音は続きます。

・CDを録音中（1曲録音「91ページ」を除く）に、曲のタイトルを16曲まで先行して入力できます（タイトルリザーブ機能）。ただし、録音する曲数より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。

・録音が終了するまでに手順5の ENTER を押してください。押さないと、入力したタイトルは取り消されます。

タイトルをつける（つづき）

グループにタイトルをつける

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE /EDIT **を押す**

例：

GR. 1 TITLE?

グループ番号　点滅

• 押しすぎたときは、CANCEL を押してやり直してください。

• グループとして録音されていない曲を演奏中のときは、グループ番号は表示されません。

2 GROUP |<< >>| **を押してタイトルをつけたいグループ番号を表示させる**

例：グループ５にタイトルをつけたいとき

GR. 5 TITLE?

点滅　グループ番号

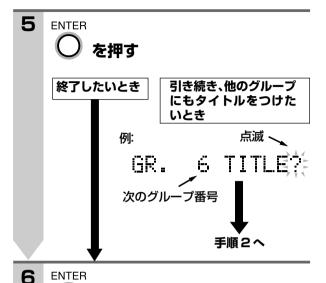
• 手順５で ENTER を押すまで、選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

3 SET **を押す**

点滅

4 タイトルを入力する

（タイトル入力のしかたは ➡ 54 ページ）

5 ENTER を押す

6 ENTER を押す

操作を途中でやめたいときは

GROUP TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

- 最後のグループにタイトルをつけたときは、自動で終了します。(手順６は不要です)
- 一度つけたタイトルを変えたいときは、もう一度手順１から操作して上書きしてください。
- 停止中、または録音中もグループにタイトルをつけることができます。

停止中

・１曲目がグループに属していないときは、手順１を行うと「GR. −− TITLE？」が表示されますが操作は同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。

録音中

・手順２で、録音中のグループ番号と「TITLE?」が表示されます。
・グループとして録音されているときに操作できます（GR. が表示）。(➡ 96ページ)
・グループとして録音していないときは GROUP TITLE/EDIT は効きません。
・録音中のグループだけにタイトルをつけることができます。したがって手順２と手順６は不要です。
・手順５で ENTER を押すと、自動で終了しますが録音は続きます。
・録音が終了するまでに手順５の ENTER を押してください。押さないと、入力したタイトルは取り消されます。

タイトル入力のしかた

1 DISP/CHARA ＊ を押して、入力したい文字の種類を選ぶ

押すごとに次のように変わります。

ア（カタカナ）➡A（英大文字）➡a（英小文字）➡1（数字）

例：カーソル（点滅）　文字の種類

＊CHARA は CHARACTER（キャラクター）（文字や記号）の略です。

2 数字ボタンを押して文字を入力する

次ページの「リモコンの文字配列表」にしたがって入力します。

例：「メ」を入力するには（手順 1 で ア を表示させてから）マ・PQRS 7 を4回押す。

例：「K」を入力するには（手順 1 で A を表示させてから）ナ・JKL 5 を2回押す。

- スペース（空白）を入れたいときは、+10 を押します。または記号の「スペース」を選びます。
- 入力位置を変えたいときは 10 または +10 を押します。
- 間違えたときは、CANCEL を押します。
- 途中の文字を消したいときは、10 でその文字にカーソルを合わせ CANCEL を押します。

3 手順 1、2 をくり返す

- 最大 61 文字まで入力できます。

リモコンの文字配列表

ボタン	数字	カタカナ	英大文字	英小文字
1 (ア 記号)	1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*
2 (カ ABC)	2	カキクケコ	ABC	abc
3 (サ DEF)	3	サシスセソ	DEF	def
4 (タ・GHI)	4	タチツテトッ	GHI	ghi
5 (ナ・JKL)	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
6 (ハ MNO)	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
7 (マ・PQRS)	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
8 (ヤ TUV)	8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv
9 (ラ・WXYZ)	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
0 (ワヲン)	0	ワヲン゛ー゜		

＊「記号」で表示するキャラクター

□(スペース)	!	”	#	$	%	&
’	(	)	＊	＋	,	−	.	／	:
;	<	＝	>	?	@	_	`

入力できる文字数について

1枚のMDに入力できる文字数はスペース（空白）も含み、最大1792文字（英数字・記号）、1タイトルにつき最大61文字です。ただし、MDの記録方式の制約により、実際に入力できる文字数はこれより少なくなります。カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：

- LP2やLP4で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつのタイトルを入力できます。
- LP2やLP4で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナ10文字ずつのタイトルが入力できます。

タイトルについて（ご参考に）

- グループ録音されたMDをグループ機能に対応していない他の機器で演奏すると、ディスクタイトル表示にグループ管理のための数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除するとグループ登録が消去されます。ご注意ください。
- MDが停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、TITLE/EDIT または GROUP TITLE/EDIT を押すと通常演奏（NORMAL）になり、タイトル入力や編集操作ができます。
  プログラムされているときは、タイトル入力以外のMDの編集操作をするとプログラムの内容が削除されます。
- MDがプログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏またはタイトルサーチの演奏のいずれかを演奏中は TITLE/EDIT または GROUP TITLE/EDIT を押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルが入力されているMDは、本機で編集できません。付属のソフトウェア「INTERJUKE」またはタイトルを入力した機器で編集してください。

曲を２つに分ける（DIVIDE）

MD を演奏中または停止中に

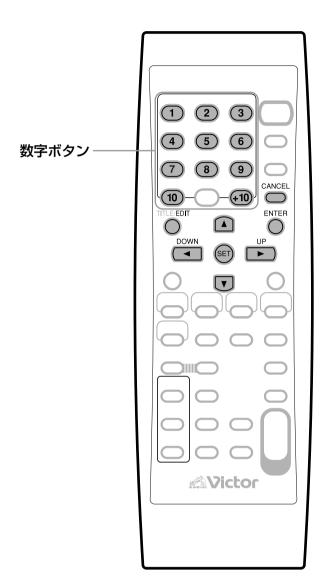
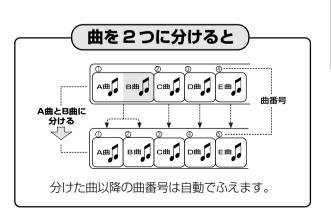
1 TITLE/EDIT ボタン **をくり返し押して**

DIVIDE?　点滅

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

例：　1　0:05?
演奏中の曲番号　点滅

- MD が停止中に操作しているときは、1 曲目の演奏が始まります。

3 DOWN ◀ 、UP ▶ **、数字ボタンのいずれかを押して、分けたい曲番号を表示させる**

例：3曲目を分けたいとき

3　0:05?　点滅

- 必要に応じて ▲ または ▼ を押し続けて、分けたいところまで早送り／早戻ししてください。

分けた曲以降の曲番号は自動でふえます。

4

分けたいところで SET を押す

押したところから約４秒後までが、くり返し演奏されます。

点滅

- 「POSI.」は Position（位置）の略です。
- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

曲の分かれ目を微調節したいとき
➡ 手順５へ

希望どおりに分けられたとき
➡ 手順６へ

5

DOWN ◄ または UP ► を押して、分けたいところを微調節する

押しつづけると連続して変わります。
± 128 ポジション（SP：標準モード時は約± 8秒）の範囲で調節できます。
トラックマーク(曲の分かれ目)が少しずつ移動し、移動したところから約4秒後までがくり返し演奏されます。

例：＋ 20 ポジション微調節したとき

点滅

POSI.　　+ 20?

- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

6

SET を押す

<DIVIDE>

交互に表示

YES?→ENTER

7

ENTER を押す

曲が２つに分けられました。

途中で操作をやめたいときは

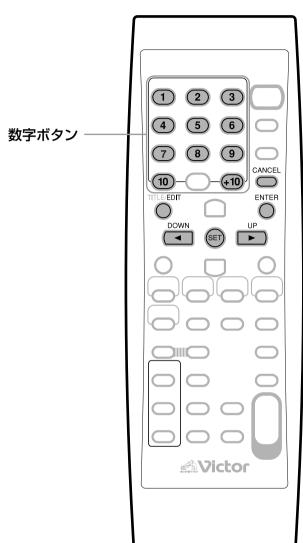
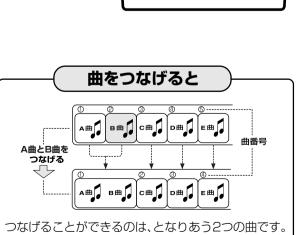
TITLE/EDIT

を押します。

演奏は停止します。

お知らせ

- MD によっては DIVIDE できないものがあります。（例えば、254 曲録音してあるものなど）このようなMDのときは、手順１で「DIVIDE?」は表示されません。
- トラックプロテクト（➡ 99、101 ページ）された曲を選んだときは、手順４で SET を押すと「TR. PROTECTED」が表示され、曲を分けることはできません。
- DIVIDE しても音声は途切れません。
- タイトルがつけられている曲を DIVIDE したときは、分けたそれぞれの曲にもとのタイトルがつけられます。
- 一度分けた曲をふたたびつなぐことができます。（JOIN ➡ 58 ページ）

2つの曲をつなげる（JOIN）

MDを演奏中に

1 TITLE/EDIT ◯ **をくり返し押して**

JOIN? ← 点滅

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL ⊂⊃ を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

1曲目を演奏中のときは「−−−」が表示されます。

例：TR 3→TR 4?（点滅）

演奏中の曲番号

- 「TR」はTrack（曲）の略です。

3 DOWN ◀ 、UP ▶ **、数字ボタンのいずれかを押して、つなげたい2つの曲番号を表示させる**

例：1曲目と2曲目をつなげたいとき

TR 1→TR 2?（点滅）

2曲目（うしろの曲）がくり返し演奏されます。

つなげることができるのは、となりあう2つの曲です。

4 を押す

<JOIN>

 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL ボタンを押すと手順３に戻れます。

5 ENTER を押す

２つの曲がつながりました。

途中で操作をやめたいときは

TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

- 一度つなげた曲をふたたび分けることができます（DIVIDE➡56ページ）が、つなげる前の曲の分かれ目（トラックマーク）は記憶していません。
- MDによってはJOINできないものがあります。（➡101ページ「MDの制約について」）
- トラックプロテクト（➡99、101ページ）された曲をつなげることはできません。手順4で SET を押すと「TR. PROTECTED」が表示されます。
- １曲だけのMDではJOINできません。（手順１で「JOIN?」が表示されません。）
- 停止中のときもJOINをおこなえます。操作手順は演奏中のときと同じです。ただし、手順3で DOWN ◄ または UP ► を押して2つの曲を表示させても曲は演奏されません。
- 次のような曲は「CANNOT JOIN」が表示され、つなげられません。
  - ・録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲
  - ・他のMDレコーダーでモノラル長時間録音した曲と、本機で録音した曲
  - ・デジタルで録音した曲（例えばCD）とアナログで録音した曲（例えばラジオ）
- タイトルがつけられている曲をJOINしたときは、つなげた前の曲のタイトルが残ります。

曲を移動する（MOVE）

MDを演奏中に

1 TITLE/EDIT
をくり返し押して

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

例：

3 DOWN ◀ 、UP ▶ **、数字ボタンのいずれかを押して、移動したい曲番号を表示させる**

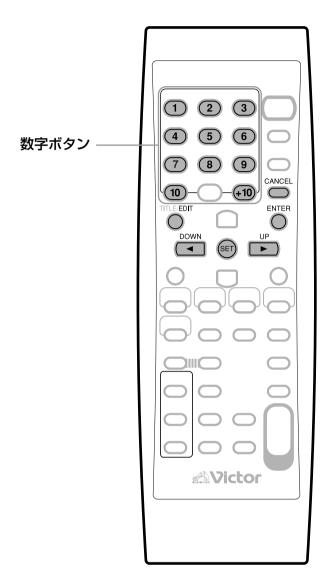
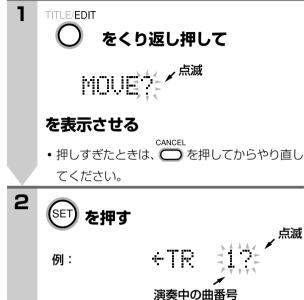
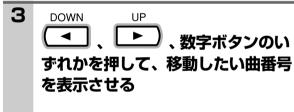
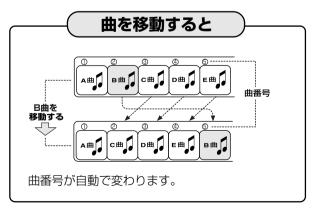
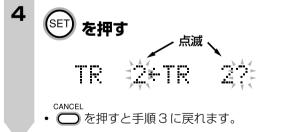
例：2曲目を移動したいとき

選んだ曲がくり返し演奏されます。

4 SET **を押す**

- CANCEL を押すと手順3に戻れます。

曲を移動すると

曲番号が自動で変わります。

5 DOWN ◀ 、UP ▶ 、数字ボタンのいずれかを押して、移動後の曲番号を表示させる

例：（2 曲目から）5 曲目に移動したいとき

点滅

TR　5←TR　2?

選んだ曲がくり返し演奏されます。

- CANCEL を押すと手順 3 に戻れます。

6 を押す

<MOVE>

 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順 3 に戻れます。

7 ENTER を押す

曲が移動されました。

途中で操作をやめたいときは

TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

- 停止中のときもMOVEをおこなえます。操作手順は演奏中のときと同じです。ただし手順 3 と手順 5で DOWN ◀ と UP ▶ を押して曲番号を表示させても曲は演奏されません。
- 移動先の曲番号が別のグループに属しているときは、そのグループの曲として登録されます。
  移動先の曲番号がグループに属していないときは、グループに属していない曲になります。
- 1 曲だけの MD では MOVE できません。（手順 1 で「MOVE?」が表示されません。）

曲を消す（ERASE）

よく使います！

曲を消すと

MDを演奏中に

1 TITLE/EDIT

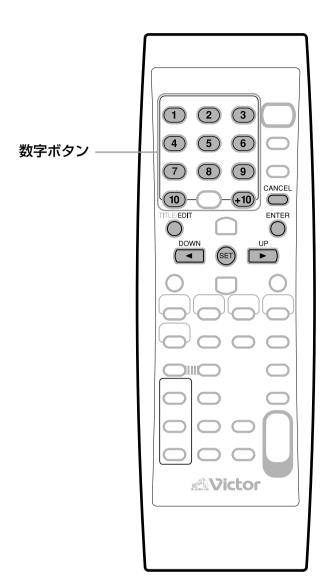
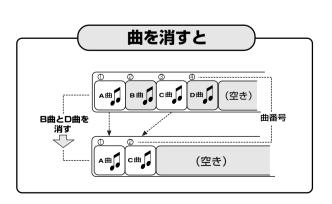
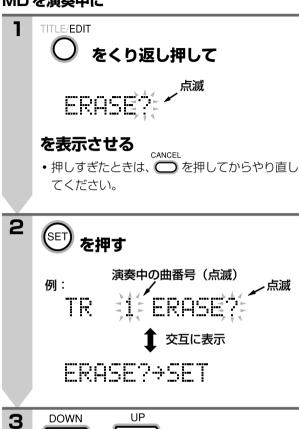
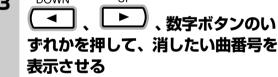
をくり返し押して

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

例：

3 DOWN ◄ 、UP ► **、数字ボタンのいずれかを押して、消したい曲番号を表示させる**

例：2曲目を消したいとき

選んだ曲がくり返し演奏されます。

4 **を押す**

消したい曲番号の前に「✓」がつきます。

例： ✓TR　2 ERASE

- 手順３と手順４をくり返すと、最大15曲まで消したい曲を選べます。
- 間違えたときは CANCEL を押して「✓」を消します。

5 ENTER **を押す**

<ERASE>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

キャンセルしたいときは TITLE/EDIT を押して手順1からやり直して下さい。

ここまでは、まだ曲は消えていません

6 ENTER **を押す**

曲が消されました。

途中で操作をやめたいときは

TITLE/EDIT を押します。

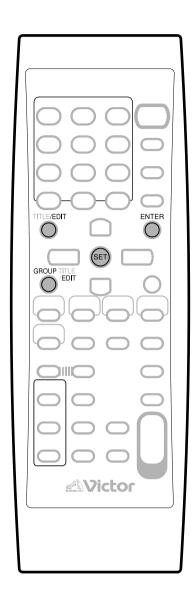
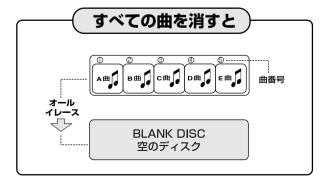
「TR.PROTECTED」が表示されたときは

トラックプロテクト（➡ 99、101ページ）された曲を選び手順４で SET を押すと「TR. PROTECTED」と「ERASE REALLY?」が交互に表示されます。（チェックアウトされた曲の可能性があります。チェックアウトした曲は元のパソコンでチェックインすることができます。➡ 99ページ）本当に消してもよければ、もう一度その表示で SET を押してください。曲番号の前に「✓」がつき、消すことができます。

ご注意

- **一度消した曲は、もどすことができません。**
  大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開けておいてください。（➡ 11ページ）

お知らせ

- 停止中のときもERASEをおこなえます。操作手順は演奏中のときと同じです。ただし手順３で DOWN ◄ または UP ► を押して曲番号を表示させても曲は演奏されません。

すべての曲を消す（ALL ERASE）

よく使います！

MD を演奏中または停止中に

途中で操作をやめたいときは

TITLE/EDIT または GROUP TITLE/EDIT を押します。

「TR.PROTECTED」が表示されたときは

トラックプロテクト（➡ 99、101ページ）された曲があるとき、手順２で SET を押すと「TR. PROTECTED」と「ERASE REALLY?」が交互に表示されます。（チェックアウトされた曲がある可能性があります。チェックアウトした曲は、元のパソコンでチェックインすることができます。➡ 99ページ）本当に消してもよければもう一度その表示で SET を押してください。手順２の表示になりますので手順３の操作をしてください。

ご注意

- **一度消した曲は、もどすことができません。**
  大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開けておいてください。（➡ 11ページ）

曲をグループにまとめる（FORM GROUP）

（フォーム グループ）

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT **または** TITLE/EDIT **をくり返し押して**

を表示させる

- 押しすぎたときは CANCEL を押してからやり直してください。

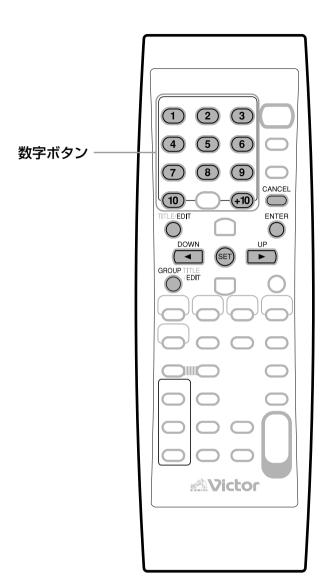
2 SET **を押す**

3 DOWN ◄ 、UP ► **、数字ボタンのいずれかを押して、グループの最初にしたい曲番号を表示させる**

例：曲番号３からグループにしたいとき

選んだ曲がくり返し演奏されます。

4 SET **を押す**

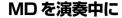
- CANCEL を押すと手順３へ戻れます。

曲をグループにまとめると

例：３曲目から 12 曲目までをグループにまとめる

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 | 13 14 15（グループ 1）

↓

1 2 | 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12（グループ 1）| 13 14 15（グループ 2）

グループにできるのは、グループに属していない連続した曲です。

5 DOWN ◄ 、UP ► **、数字ボタンのいずれかを押して、グループの最後にしたい曲番号を表示させる**

例：曲番号 12 までグループにしたいとき

TR 3→TR 12? 点滅

選んだ曲がくり返し演奏されます。

6 SET **を押す**

<FORM GROUP>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

7 ENTER **を押す**

3曲目から12曲目までがグループになりました。

途中で操作をやめたいときは

GROUP TITLE/EDIT または TITLE/EDIT を押します。

「GROUP TRACK」が表示されたときは

選んだ曲はすでにグループに属しています。その曲が属しているグループを解除（➡76ページ）して手順１からやり直すか、グループに属していない曲を選びなおしてください。

「CANNOT FORM」が表示されたときは

下の図のように、グループにしたい最初の曲（３曲目）と最後の曲（12曲目）はグループに属していなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。

このような場合は、グループ１を解除（➡76ページ）して 手順１からやり直してください。

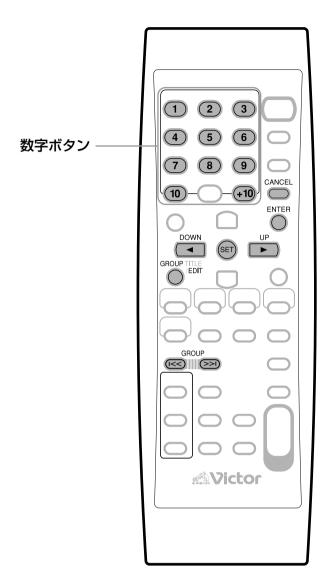
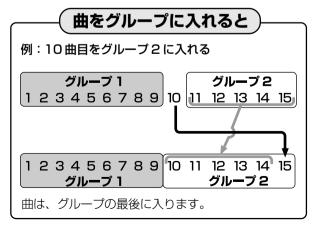
お知らせ

- グループは、あとで解除できます。（➡76ページ）
- MDが停止中の時も曲をグループにまとめることができます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし手順３および手順５で DOWN ◄ または UP ► を押して曲番号を表示させても曲は演奏されません。
- **１曲でもグループにできます。**
  手順3と手順5で、同じ曲番号を選んでください。
- **１枚のMDには最大99個のグループを作れます。**

グループに曲を入れる（ENTRY GROUP）

4

を押す

GROUP --? ← 点滅

- 選んだ曲がすでにグループに属しているときは、そのグループ番号が表示されます。
- CANCEL を押すと手順3に戻れます。

5

GROUP |<< >>|

を押して、曲を入れたいグループ番号を表示させる

指定したグループの曲がくり返し演奏されます。

例：グループ2に入れたいとき

- CANCEL を押すと手順3に戻れます。

6

を押す

<ENTRY GROUP>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順3に戻れます。

7

ENTER

を押す

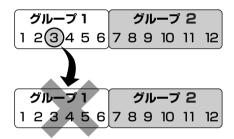
10曲目がグループ2の最後の曲（前ページ左下の図だと15曲目）になりました。

途中で操作をやめたいときは

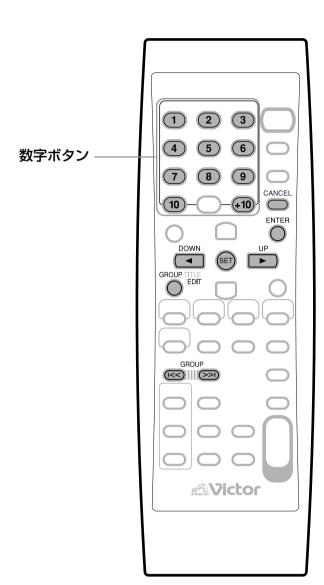
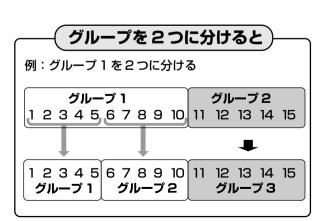
GROUP TITLE/EDIT

を押します。

「CANNOT ENTRY」が表示されたときは

すでにグループに属している曲を同じグループに入れることはできません。
下の図の場合、3曲目をグループ1に入れようとすると、手順6で「CANNOT ENTRY」が表示され、手順5に戻ります。
別のグループ（下の図ではグループ2）を指定してください。

お知らせ

- MDが停止中のときも曲をグループに入れることができます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし手順3で DOWN ◄ または UP ► を押して曲番号を表示させても曲は演奏されません。また手順5でも曲は演奏されません。
- すでにグループに属している曲を、別のグループに入れることもできます。

グループを２つに分ける（DIVIDE GROUP）

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して**

DIVIDE GR.?（点滅）

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

例：

演奏中のグループ番号（点滅）　演奏中の曲番号（点滅）

GROUP 2 TR 11

グループに属していない曲を演奏しているときは、「－－」が表示されます。

3 GROUP |<< >>| **を押して、２つに分けたいグループ番号を表示させる**

例：グループ１を２つに分けたいとき

グループ１の最初の曲番号

GROUP 1 TR 1

点滅

選んだグループの最初の曲がくり返し演奏されます。

4 DOWN ◄ 、UP ► 、**数字ボタンのいずれかを押して、後ろのグループの先頭にしたい曲番号を表示させる**

例：6曲目を先頭にしたいとき

点滅

GROUP 1 TR 6

（グループ 1 を、曲番号 6 を境に分けます）

選んだ曲がくり返し演奏されます。
- グループの最初の曲を選ぶことはできません。

5 SET **を押す**

<DIVIDE GR.>

交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順 3 に戻れます。

6 ENTER **を押す**

グループが 2 つに分けられました。

途中で操作をやめたいときは

を押します。

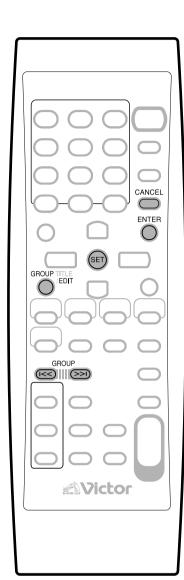
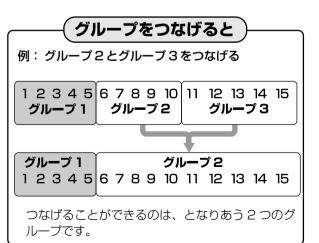
お知らせ

- MD が停止中のときもグループを 2 つに分けることができます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし手順3で曲は演奏されません。また手順4で DOWN ◄ または UP ► を押して曲番号を表示させても曲は演奏されません。
- 2つに分けたグループを、もう一度つなげることができます。（JOIN GROUP ➡ 72ページ）
- グループタイトルがついているときは、分けたあとの2つのグループに、分ける前のグループタイトルが自動でつけられます。
- 1 曲だけのグループを 2 つに分けることはできません。

2つのグループをつなげる（JOIN GROUP）

MDを演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して**

点滅

JOIN GROUP?

を表示させる

- 押しすぎたときは CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

例：グループ3の曲を演奏中のとき

点滅　演奏中の曲のグループ番号

GR. 2+GR. 3?

- グループに属していない曲を演奏しているときは、「−−」が表示されます。

3 GROUP |<< >>| **を押して、つなげたいグループ番号を表示させる**

選んだグループ（下の例ではグループ3）の曲がくり返し演奏されます。

例：グループ2とグループ3をつなげたいとき

点滅　点滅

GR. 2+GR. 3?

4

を押す

<JOIN GROUP>

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

5 ENTER

を押す

グループがつながりました。

途中で操作をやめたいときは

GROUP TITLE/EDIT

を押します。

「CANNOT JOIN」が表示されたときは

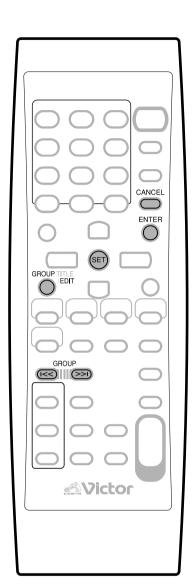
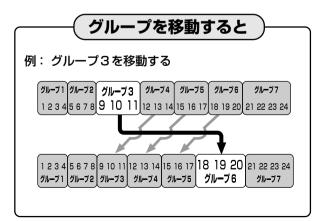
下の図のグループ２とグループ３のように、グループとしてはとなりあっていても、間にグループに属していない曲があるときはグループをつなげることはできません。

グループ1	グループ2		グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

このようなときは、「曲を移動する（MOVE）」（➡ 60 ページ）または「グループを移動する（MOVE GROUP）」（➡ 74 ページ）の操作をして、グループ番号と曲番号をとなりあわせにしてからつなげてください。

お知らせ

- MDが停止中のときもグループをつなげることができます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。
- グループタイトルは、前側のグループ（前ページ左下の図ではグループ２）のタイトルになります。
- グループが１つしかないときは、手順１で「JOIN GROUP?」は表示されません。

グループを移動する（MOVE GROUP）

ムーブ　グループ

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して**

点滅

MOVE GROUP?

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

点滅

例：　←GR. 1?

演奏中のグループ番号

- グループに属していない曲を演奏しているときは、「－－」が表示されます。

3 GROUP I<< >>I **を押して、移動したいグループ番号を表示させる**

例：グループ３を移動したいとき

点滅

←GR. 3?

選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

グループを移動すると

例： グループ３を移動する

4

を押す

点滅

GR. 3→GR. 3?

• CANCEL を押すと手順3に戻れます。

5

GROUP |<< >>| **を押して、移動後のグループ番号を表示させる**

例：グループ番号6を選んだとき

点滅

GR. 6→GR. 3?

選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

• CANCEL を押すと手順3に戻れます。

6

SET **を押す**

<MOVE GROUP>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

• CANCEL を押すと手順3に戻れます。

7

ENTER
を押す

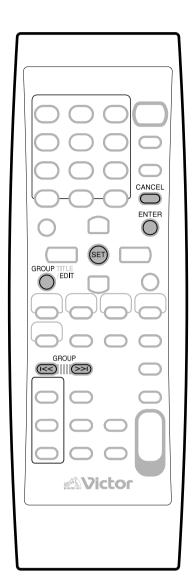
グループが移動されました。

途中で操作をやめたいときは

を押します。

お知らせ

• MDが停止中のときもグループを移動できます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。
• グループが1つしかないときは、手順1で「MOVE GROUP？」は表示されません。

グループを解除する (UNGROUP/UNGROUP ALL)

グループを選んで解除する(UNGROUP)

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して**

点滅

UNGROUP?

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET **を押す**

- グループに属していない曲を演奏しているときは、「−−」が表示されます。

3 GROUP |<< >>| **を押して、解除したいグループ番号を表示させる**

例：グループ３を解除したいとき

点滅

GROUP 3?

選んだグループの最初の曲の演奏が始まります。

グループを解除すると

例： グループ３を解除する

グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

⬇

グループ1	グループ2		グループ3	グループ4	グループ5	グループ6
1 2 3 4	5 6 7 8	9 10 11	12 13 14	15 16 17	18 19 20	21 22 23 24

4 **を押す**

<UNGROUP>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

5 ENTER **を押す**

グループが解除されました。

すべてのグループを解除する(UNGROUP ALL)

MDを演奏中または停止中に

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して**

UNGROUP ALL?（点滅）

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 **を押す**

<UNGROUP ALL>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

3 ENTER **を押す**

すべてのグループが解除されました。

途中で操作をやめたいときは

GROUP TITLE/EDIT を押します。

途中で操作をやめたいときは

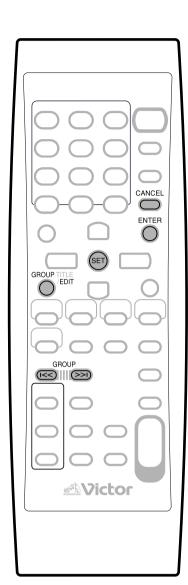
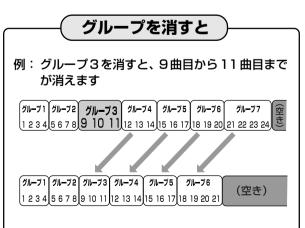
GROUP TITLE/EDIT を押します。

お知らせ

- グループを解除しても曲は消えません。
- MDが停止中のときもグループを解除できます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。

お知らせ

- グループを解除しても曲は消えません。
- MDが停止中のときもグループを解除できます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。

グループを消す（ERASE GROUP）

MD を演奏中に

1 GROUP TITLE/EDIT をくり返し押して

を表示させる

- 押しすぎたときは、CANCEL を押してからやり直してください。

2 SET を押す

- グループに属していない曲を演奏しているときは、「−−」が表示されます。

3 GROUP |<< >>| を押して、消したいグループ番号を表示させる

例：グループ３を消したいとき

選んだグループの曲がくり返し演奏されます。

グループを消すと

例：グループ３を消すと、９曲目から１１曲目までが消えます

4

を押す

<ERASE GROUP>

↕ 交互に表示

YES?→ENTER

- CANCEL を押すと手順３に戻れます。

ここまでは、まだグループは消えていません

5

ENTER **を押す**

グループが消されました。

途中で操作をやめたいときは

GROUP TITLE/EDIT を押します。

「TR.PROTECTED」が表示されたときは

トラックプロテクト（➡99、101ページ）された曲が消したいグループの中にあるとき、手順４で SET を押すと「TR. PROTECTED」と「ERASE REALLY?」が交互に表示されます。(チェックアウトされた曲がある可能性があります。チェックアウトした曲は、元のパソコンでチェックインすることができます。➡ 99ページ)本当に消してもよければ、もう一度その表示で SET を押してください。「<ERASE GROUP>」と「YES?→ENTER」が交互に表示されますので、手順５の操作をしてください。

ご注意

- グループを消すと、そのグループ内のすべての曲が消えます。**一度消した曲は、もどすことができません。**
  大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開けておいてください。（➡ 11ページ）

お知らせ

- MDが停止中のときもグループを消せます。操作の手順は演奏中のときと同じです。ただし操作中に曲は演奏されません。

他の機器の音声を聞く

DIGITAL IN/LINE

OPTICAL DIGITAL IN 端子または LINE IN 端子につないだ機器の音声を聞くことができます。

電源「入」「切」どちらのときでも

1

を押す

押すごとに次のように変わります。

DIGITAL IN ⟷ LINE

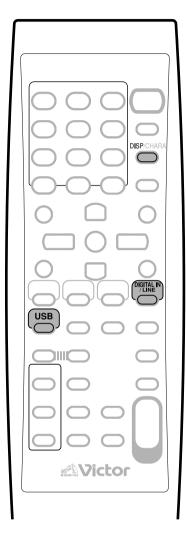
聞きたいソースを表示させせます。

- 本体のソースセレクターでも選べます。（電源「入」のとき）

2 他の機器を演奏する

本機で音量や音質を調節します。
（➡ 23 24 ページ）

表示を変えたいときは

DISP/CHARA を押すごとに次のように変わります。

例：
- ソース表示
  DIGITAL IN
  ⬇
- （MD が入っているとき）録音可能な残り時間
  REM.　1:20:59
  ⬇
- 時計

お知らせ

- 他の機器との接続のしかたについては、17 ページ「電源コード・他の機器の接続」をご覧ください。
- 本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく聞いたり録音することができます。（ただし、DVDなどのドルビーデジタルやDTSデジタル信号には対応しておりません。ノイズが発生してスピーカーを破損するおそれがあります。）

BS Aモード またはDAT　32kHz
CS/BS Bモード またはDAT　48kHz
CD、MD またはDAT　44.1kHz
本機のサンプリングレートコンバーター
44.1kHz

USB(パソコン)

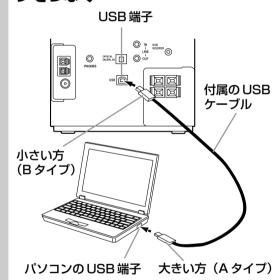
USB 端子に接続したパソコンの音声を本機で聞くことができます。
あらかじめパソコンを起動しておいてください。

電源「入」「切」どちらのときでも

1 **を押す**

U S B

• 本体のソースセレクターでも選べます。
（電源「入」のとき）

2 付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

• パソコンが本機を自動で検出します。
• 初めて本機とパソコンをつないだときは、ドライバーをインストールしてください
(➡ 84 ページ)。あわせて「INTERJUKE」の取扱説明書もご覧ください。

3 パソコンで音声ファイルを再生する

• 再生のしかたは、パソコンまたはアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
• 本機で音量や音質の調節をします。
(➡ 23 24 ページ)

正しく接続されているか確認するには

Windows®98 または Me のとき

1 本機の音量を適当な音量に合わせる
2 パソコンで、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンド] を開く
3 サウンドのプロパティで、パソコンで [Windows の起動] を選んでから [再生] ボタンをクリックする

Windows®2000 のとき

1 本機の音量を適当な音量に合わせる
2 パソコンで、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンドとマルチメディア] を開く
3 サウンドとマルチメディアのプロパティで [サウンド] のタブをクリックして、パソコンで [Windowsの起動] を選んでから [再生] ボタンをクリックする

Windows®XP のとき

1 本機の音量を適当な音量に合わせる
2 パソコンで、[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [サウンド とオーディオ デバイス] を開く
3 サウンドとオーディオ デバイスのプロパティで [サウンド] のタブをクリックして、パソコンで [Windowsの起動] を選んでから [再生] ボタンをクリックする

本機から [Windowsの起動] 音が聞こえてくれば正常です。聞こえないときは、82 ページをご覧ください。

ご注意

• パソコンの音声を本機で録音することはできません。
• 音声が出ているときはUSBケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。
• パソコンの音声ファイルを再生中は、本機の電源を「切」にしないでください。次回電源を「入」にしたときに正しく動作しません。このような場合は、手順 1 からやり直してください。
• パソコンのタスクトレイのスピーカーマークをクリックしたときに出てくる音量バーは操作できません。

他の機器の音声を聞く（つづき）

USB（パソコン）（つづき）

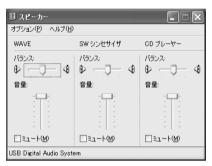
パソコンからの音声が聞こえないとき

Windows の起動音が聞こえてこないときは、次のことを確認してみてください。

- ［スタート］→［プログラム］（Windows 2000 のときは［すべてのプログラム］）→［アクセサリ］→［エンターテイメント］→［ボリュームコントロール］を開き、WAVE の音量が最小になっていたり、「ミュート(M)」にクリックマークがついていないかを確認します。
  音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート(M)」にクリックマークが付いているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずします。

例：Windows XP のとき

Windows 2000 のとき

- ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［サウンドとマルチメディア］を開きます。
  ［オーディオ］タブで音の再生の「優先するデバイス」が「USB オーディオ デバイス」になっているか確認します。
  「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USB オーディオ デバイス」を選びます。

Windows 98 または Me のとき

- ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［マルチメディア］を開きます。
  ［オーディオ］タブで再生の「優先するデバイス」が「USB オーディオ デバイス」になっているか確認します。
  「USB オーディオ デバイス」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USB オーディオ デバイス」を選びます。

参考：他のサウンドカードから音声を出すときもここを変更します。

Windows XP のとき

- ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［サウンドとオーディオ デバイス］を開きます。
  ［オーディオ］タブで音の再生の「既定のデバイス」が「USB Digital Audio System」になっているか確認します。
  「USB Digital Audio System」になっていないときは、▼をクリックしてプルダウンメニューの中から「USB Digital Audio System」を選びます。

故障？と思う前に、次のことを確認してください

本機がパソコンに認識されない

➡ 本機のソースをUSBにしてから、USBケーブルで本機とパソコンをしっかり接続する。

音声が出ない、小さい

➡ [マルチメディア] のボリュームコントロールの設定、優先するデバイス、「ミュート(M)」を確認してください。

➡ 本機の音量が適当になっているかを確認してください。

➡ パソコンと本機の電源を切ってから「USB（パソコン）」（➡ 81 ページ）の操作を再度行ってください。

音声が途切れる

➡ 音声出力中、パソコンのCPUに負担のかかる作業をしていると、音声が途切れることがあります。CPUに負担のかかる作業は控えてください。

➡ 音声の再生中に、他の機器のUSBケーブルを抜き差しすると音声が途切れることがあります。

雑音が多い

➡ 強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに置いていると雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して置いてください。

USB(パソコン)(つづき)

ドライバーのインストール

本機とパソコンを初めて接続したときは、パソコンにドライバーをインストールしてください。

• Windows®2000またはXPでは、ドライバーは自動でインストールされますので必要ありません。

1 本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続する。
パソコンが本機を検出し、必要なドライバーインストールのウィザードが起動します。

2 「USB 互換デバイス」➡「USBオーディオデバイス」の順に続けてインストールする。

例：Windows®98またはMeでUSBオーディオデバイスのとき

ウィザードでは、特に問題がないときは、[次へ] をクリックしていきます。
[次へ] がクリックできないとき、またはパソコンのウインドウに指示が出ているときは、その指示にしたがった操作をしてください。
ドライバーのインストールが終了します。

お知らせ

• パソコンによっては、ドライバーのインストールにWindows®98、Windows®Me、Windows®2000またはWindows®XPのシステムディスクが必要な場合があります。

正しくインストールできているか確認する

「USB オーディオデバイス」、「USB 互換デバイス」（「USB 複合デバイス」）、「汎用USBハブ」がインストールされていることを確認します。

Windows®98またはMeのとき

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選びクリックする

2 ［コントロールパネル］の画面で［システム］をダブルクリックする

3 ［デバイスマネージャ］のタブをクリックする
「種類別に表示」がチェックされているか確認してください。
パソコンによっては、アドバンスモードに設定する必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する
• 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」項目の中に「USB オーディオ デバイス」がある
• 「ユニバーサル シリアルバス コントローラ」項目の中に「USB 互換デバイス」がある

お知らせ

• インストールされた2 種類のUSB デバイスは、本機の電源が「入」でUSBケーブルでパソコンに接続しているときに「デバイスマネージャ」に現れます。

正しくインストールできているか確認する（つづき）

Windows®2000 のとき

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選びクリックする

2 ［コントロールパネル］の画面で［システム］をダブルクリックする

3 ［ハードウェア］のタブを選び、［デバイスマネージャ］をクリックする

「表示」が「デバイス（種類別）」になっているか確認してください。
パソコンによっては、アドバンスモードに設定する必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」項目の中に「USB オーディオ デバイス」がある
- 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」項目の中に「USB 複合デバイス」がある

「+」

お知らせ

- インストールされた 2 種類の USB デバイスは、本機の電源が「入」で USB ケーブルでパソコンに接続しているときに「デバイスマネージャ」に現れます。

Windows®XP のとき

1 ［スタート］→［コントロールパネル］を選びクリックする

2 ［コントロールパネル］の画面で［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［システム］をクリックする

4 ［ハードウェア］のタブを選び、［デバイスマネージャ］をクリックする

「表示」が「デバイス（種類別）」になっているか確認してください。
パソコンによっては、アドバンスモードに設定する必要があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

5 各項目の「+」をクリックして、それぞれの項目内のデバイスを確認する

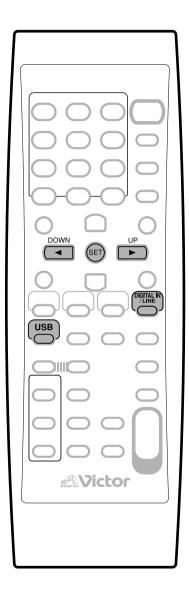
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」項目の中に「USB オーディオ デバイス」がある
- 「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」項目の中に「USB 複合デバイス」がある

「+」

お知らせ

- インストールされた 2 種類の USB デバイスは、本機の電源が「入」で USB ケーブルでパソコンに接続しているときに「デバイスマネージャ」に現れます。

他の機器のソース名表示を変える

接続した機器に合わせて、表示窓に表示させるソース名を変えることができます。

DIGITAL IN/LINEの名前を変える

電源「入」「切」どちらのときでも

1 DIGITAL IN / LINE **を押す**

押すごとに次のように変わります。

DIGITAL IN ⟷ LINE

名前を変えたいソースを表示させます。

• 本体のソースセレクターでも選べます。
（電源「入」のときのみ）

2 DIGITAL IN / LINE **を２秒以上押す**

NAME CHANGE ← 点滅

3 **「NAME CHANGE」が点滅している間に SET を押す**

例：

LINE ← 点滅

4 DOWN ◄ **または** UP ► **を押して、新しい名前を表示させる**

LINE のとき：
押すごとに次のように変わります。

LINE ⟷ TAPE ⟷ DBS* ⟷ VTR ⟷ TV
↑———— GAME ————↑

＊DBS は Direct（ダイレクト） Broadcasting（ブロードキャスティング） Satellite（サテライト） の略です。CS/BS チューナーをさします。

DIGITAL IN のとき：
押すごとに次のように変わります。

DIGITAL IN ⟷ DBS-DIGITAL

5 SET **を押す**

ソース名が変更されました。

例：　TAPE

USBの名前を変える

電源「入」「切」どちらのときでも

1

を押す

U S B

2

を２秒以上押す

NAME CHANGE ← 点滅

3 **「NAME CHANGE」が点滅している間に SET を押す**

← 点滅

4

または

を押して、新しい名前を表示させる

押すごとに次のように変わります。

USB ↔ PC

5

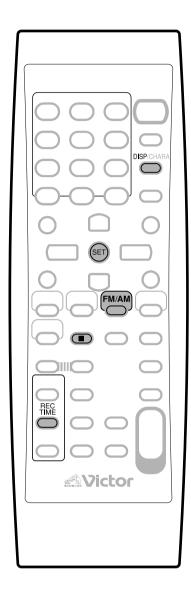
を押す

ソース名が変更されました。

P C

お知らせ

- 録音中はソース名を変えることができません。（DIGITAL IN/LINE/USB すべて）

ラジオを録音する

MD REC

電源「入」のとき

1 MDを入れる

MDは誤消去防止つまみを閉じておいてください。(➡ 11 ページ)

2 FM/AM を押して、録音したい放送局を受信する

(「ラジオを聞く」➡ 31 ページ)
• 本体のソースセレクターでも選べます。

3 REC TIME を押して録音モード(➡ 89 ページ)を選ぶ

押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4

• FMとAMを別々の録音モードに設定することはできません。

4 本体の MD REC を押す

録音が始まります。

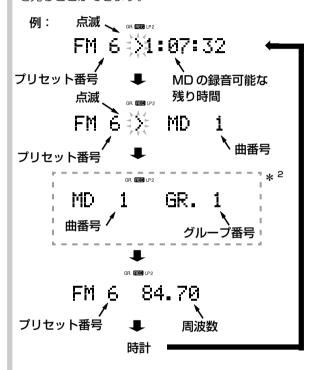
例:

• MDの録音可能な残り時間がなくなると、自動で停止します。

＊1 お買い上げ時は1回の録音を1つのグループとして録音するように設定されています(「GR.」点灯)。(グループとして録音したくないとき ➡ 96 ページ)

録音中に表示窓の表示を変えたいときは

DISP/CHARA を押します。

押すごとに表示が次のように変わり、いろいろな情報を見ることができます。

＊2 グループとして録音していないとき（➡ 96 ページ）（GR. 表示消灯）は表示しません。

録音の途中にトラックマーク（➡ 96 ページ）をつけたいときは

トラックマークをつけたいところで SET を押します。

トラックマークがつけられ、表示窓に「TRACK（トラック） MARKING（マーキング）」が数秒間表示されます。

- 「TRACK MARKING」表示中も、録音は中断されません。

録音をやめたいときは

■ を押します。

- 本体のマルチコントロールボタンの ■ を押しても同じです。

録音モードとは

SP ： 録音できる時間は、MDに表示されている時間と同じです。最も良い音質で録音されます。
MDLP に対応していない機器で再生したい場合はこれを選んでください。

LP2 ： 録音できる時間は、MDに表示されている時間の2倍です。音質は、SPとLP4の中間です。

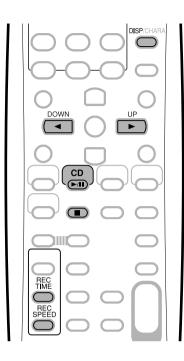
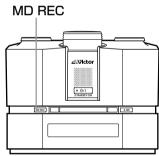
LP4 ： 録音できる時間は、MDに表示されている時間の４倍です。音質はSPやLP2より劣ります。

- 設定した録音モードは、ソースを変えたり電源を「切」にしても保持されます。
- SPのときは表示窓の録音モード表示は無表示となります。

お知らせ

- 録音レベルを調節することはできません。
- 手順4の操作をする前に DISP/CHARA を押すと、選んだ録音モードでのMDの録音可能な残りの時間を見ることができます。
- 登録（プリセット）されていない周波数で録音するときは、プリセット番号は表示されません。

CD を録音する

よく使います！

お知らせ

- 録音しながらタイトルをつけることができます。(➡ 50 ～ 55 ページ)
- 録音レベルを調節したいときは、「録音レベルを調節する」(➡ 94 ページ）をご覧ください。
- リピート演奏の録音はできません。録音を開始すると自動でリピート演奏が解除されます。
- 手順5の操作をする前に DISP/CHARA を押すと、選んだ録音モードでの MD の録音可能な残りの時間を見ることができます。
- 録音モードおよび録音スピードは、PC-Net MD を押してパソコンと接続した後、設定が変更になることがあります。再度お好みの設定にやり直してください。

CDを１枚まるごと録音する

電源「入」のときに

1 MD を入れる

MDは、誤消去防止つまみを閉じておいて下さい。(➡ 11 ページ)

2 録音したい CD を停止状態にする

CDを入れ、CD ►/❚❚ を押してから、■ を押します。
ソースが CD になり、停止します。
- 本体のソースセレクターでも選べます。

3 REC TIME を押して録音モード（➡ 89 ページ）を選ぶ

押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4 （LP4 の次は SP に戻る）

4 REC SPEED を押して録音スピードを選ぶ

押すごとに次のように変わります。

x1 (等速)：
音声を聞きながら録音したいとき。
CD のキズなどが原因で、x2 や x4 だと雑音などが録音されてしまうとき。

x2 (2 倍速)：
高速でランダム録音（➡ 91 ページ）したいとき。
CD のキズなどが原因で、x4 だと雑音などが録音されてしまうとき。

x4 (4 倍速)：
高速で録音したいとき。
（ただしランダム録音はできません。）

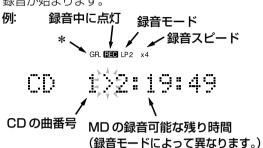
（x4 の次は x1 に戻る）

例：
録音モード（SP のときは無表示）
録音スピード（x 1 のときは無表示）

LP2 x4
CD 16 1:05:21

- 録音スピードが「x 2」または「x 4」のときは、録音中に音声を聞くことはできません。
- 録音される音質は、どの録音スピードでも同じです。

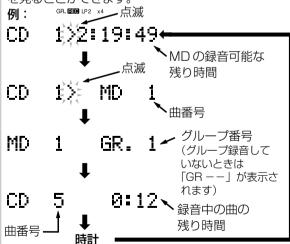
5 本体の MD REC を押す

録音が始まります。

- 最後の曲が終了するか、MDの録音可能な残り時間がなくなると自動で停止します。
- 「**HCMS CANNOT COPY**」が表示されたときは ➡ 97 ページ

＊ お買い上げ時は1回の録音を1つのグループとして録音するように設定されています(「GR.」点灯)。(グループとして録音したくないとき➡ 96 ページ)

録音中に表示窓の表示を変えたいときは

DISP/CHARA を押します。

押すごとに表示が次のように変わり、いろいろな情報を見ることができます。

録音を途中でやめたいときは

■ を押します。

- 本体のマルチコントロールボタンの■ を押しても同じです。

1曲だけ録音する[1曲録音]

手順5の操作をする前に、録音したい曲を演奏してください。(➡ 34 ページ「CDを聞く」)

そのあと手順5で MD REC を押すと演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

- 録音が終わると自動で停止します。

途中の曲から録音する

手順5の操作をする前に、DOWN ◄ または UP ► を押して録音を始めたい曲を選んでください。

そのあと手順5で MD REC を押すと選んだ曲から録音します。

- 選んだ曲から最後の曲まで録音が終わると自動で停止します。
- 本体のマルチコントロールボタンの ⏮ または ⏭ を押しても同じです。

好きな曲順で録音する[プログラム録音]

手順5の操作をする前に、録音したい曲をプログラムしてください。(➡ 36 ページ「CDを好きな曲順で聞く」手順1、2)

そのあと手順5で MD REC を押すとプログラムした順に録音します。

- プログラムした最後の曲を録音し終わると、自動で停止します。

お知らせ

- 同じ曲をプログラム録音するときは、録音スピードをx1にしてください。x2またはx4にするとHCMS(➡ 97 ページ)がはたらき録音できません。

ランダムな曲順で録音する[ランダム録音]

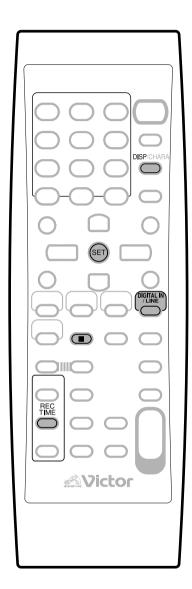
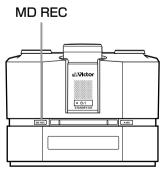
手順5の操作をする前に、プレイモードを「CD RANDOM」にしてください。(➡ 38 ページ「CDをランダムな曲順で聞く」手順1)

そのあと手順5で MD REC を押すとランダムな曲順で録音します。

- すべての曲を録音し終わると自動で停止します。

録音スピードは「x1」または「x2」に設定します。「x4」に設定すると「CANNOT REC!」(キャンノット レック)(録音できません)が表示され録音できません。

他の機器の音声を録音する

LINE IN 端子または OPTICAL DIGITAL IN 端子に接続した機器の音声を録音できます。

電源「入」、ソース機器が停止状態のとき

1 MD を 入れる

MDは誤消去防止つまみを閉じておいてください。
(➡ 11 ページ)

2 DIGITAL IN / LINE を押す

押すごとに次のように変わります。

DIGITAL IN ⟷ LINE

録音したいソース名を表示させます。

- 本体のソースセレクターを回して選ぶこともできます。

3 REC TIME を押して、録音モード（➡ 89 ページ）を選ぶ

押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4（LP4 ➡ SP に戻る）

4 本体の MD REC を押す

録音待機状態になります。

例：

- 「S.」は「SOUND」の略です。

＊[1] お買い上げ時は 1 回の録音を 1 つのグループとして録音するように設定されています（「GR.」点灯）。(グループとして録音したくないとき ➡ 96 ページ)

5 ソース機器を演奏する

他の機器の演奏開始に合わせて自動で録音が始まります（サウンドシンクロ録音）。

例：

- MDの録音可能な残り時間がなくなると自動で停止します。

サウンドシンクロ録音についてのお知らせ

- ソース機器の種類や演奏する音量によっては、録音が自動で始まらないことがあります。このようなときは、手動で録音を始めてください。（下の説明「手動で録音を始めたいときは」参照）
- ソース機器の音声が 30 秒以上途切れると、自動で録音を終了します。このとき、録音が終了した MD の空白時間は約 2 秒になります。
- DAT* からの音声をサウンドシンクロ録音すると、録音を始めた曲番号（トラックマーク）が 2 つつきますが、これは故障ではありません。
  JOIN 機能（➡ 58 ページ）でつないでください。
  * DAT は Digital Audio Tape の略です。

手動で録音を始めたいときは

手順 4 のあとに本体のマルチコントロールボタンの ▶/II を押します。

録音の途中にトラックマーク(➡ 96 ページ)をつけたいときは

トラックマークをつけたいところで SET を押します。

表示窓に「TRACK MARKING」が数秒間表示されます。

- 「TRACK MARKING」表示中も、録音は中断されません。
- 無音状態が 3 秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

録音をやめたいときは

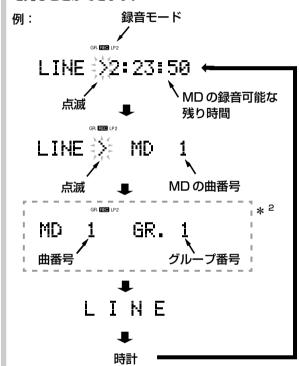
■ を押します。

- 本体のマルチコントロールボタンの ■ を押しても同じです。
- ■ または■を押してもソース機器は停止しません。

録音中に表示窓の表示を変えたいときは

DISP/CHARA を押します。

押すごとに表示が次のように変わり、いろいろな情報を見ることができます。

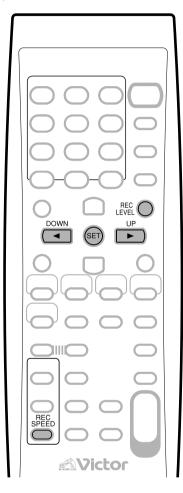
例：

＊2 グループとして録音していないとき（➡ 96 ページ）（GR. 表示消灯）は表示しません。

お知らせ

- ソース名表示を変えてあるときは、変えたソース名が表示されます（手順 2）。（➡ 86 ページ）
- ソースが CD、DIGITAL IN のとき録音開始前または録音中、OVER 表示が点灯するときは、録音レベルが大きすぎます。そのまま録音すると、音のひずんだ録音になります。録音レベルを調節してください。（➡ 94 ページ）
- **USB 端子からの録音はできません。**ただしチェックアウト（➡ 99 ページ）はできます。
- DIGITAL IN 録音の場合、録音を始めたときや停止したときに音が一瞬とぎれることがありますが、録音された内容に影響はありません。

録音レベルを調節する

CD や DIGITAL IN または LINE からの録音レベルを調節することができます。
通常は、録音レベルを調節する必要はありません。
次のようなときに調節してください。

- 調節しないと録音レベルが大きすぎる、または小さすぎるとき。
- 複数のソースやCDを同じ録音レベルで録音したいとき。

お知らせ

- ソースがラジオ（FM/AM）または CD で録音スピードが「x2」または「x4」のときは録音レベルを調節できません。REC LEVEL を押すと「CANNOT ADJUST」が数秒間点滅表示された後、元の表示に戻ります。
- 停止中または録音中でも録音レベルを調節できます。
- LEVEL RESET は、そのソースに対してのみ有効です。
- 録音レベルが大きすぎるときは、表示窓の OVER 表示が点灯します(ソースが CD および DIGITAL IN のとき)。

CDの録音レベルを調節する

CD を演奏中に

1 REC SPEED を押して録音スピードを「x1」にする(➡ 90 ページ)

2 REC LEVEL を押す

押すごとに次のように変わります。

LEVEL MANUAL ⬇ LEVEL RESET（点滅）→ ソース表示（解除）

- LEVEL RESET を選んで SET を押すと、お買い上げ時の設定（0dB）に戻せます。

3 「LEVEL MANUAL」を表示させて SET を押す

R.LEVEL 0dB（録音レベル（点滅））

- 「R.」は Rec の略です。
- dB（デシベル）は録音レベルの単位です。

4 CD の演奏を聞きながら DOWN ◄ または UP ► を押して、録音レベルを調節する

- －12dB～＋12dB（2dB 単位）の範囲で調節できます。
  音が一番大きい曲でも、「OVER」が表示されない範囲で調節してください。
- 操作をやめたいときは REC LEVEL を押します。

5 SET を押す

6 CD を録音する（➡ 90 ページ）

- 設定した録音レベルは、CD の録音が終了する、録音スピードを「x2」または「x4」に変更する、MDの取り出し、CD ドアの開閉、ソースを変える、電源を「切」にするのいずれかの操作をすると 0dB に戻ります。

DIGITAL INの録音レベルを調節する

ソースが DIGITAL IN のとき

1 REC LEVEL ◯ **を押して調節方法を選ぶ**

押すごとに次のように変わります。

- **LEVEL AUTO**：録音レベルが自動で調節されます。
- ↓
- **LEVEL MANUAL**：録音レベルを手動で調節します。
- ↓
- **LEVEL RESET**：お買い上げ時の設定（0dB）に戻ります。
- ↓
- **ソース表示（解除）**

2 SET **を押す**

「LEVEL AUTO」のとき

録音レベルが＋12dB になり、「OVER」が表示されるごとに自動で 2dB ずつ下がります。

- 設定された録音レベルは、ソースを変えたり電源を「切」にしても保持されますが、再度「LEVEL AUTO」を選ぶと＋12dBに戻り、再度自動で設定します。
- 録音中は選ぶことができません。

「LEVEL MANUAL」のとき

➡ DOWN ◄ **または** UP ► **を押して、録音レベルを調節し** SET **を押す**

- −12dB〜＋12dB（2dB単位）の範囲で調節できます。
  音が一番大きい曲でも、「OVER」が表示されない範囲で調節してください。
- 操作をやめたいときは REC LEVEL ◯ を押します。

「LEVEL RESET」のとき

録音レベルがお買い上げ時の設定（0dB）に戻ります。

3 **DIGITAL IN からの録音をする**
（➡ 92ページ）

お知らせ

- 設定された録音レベルは、ソースを変えたり電源を「切」にしても保持されます。

LINE の録音レベルを調節する

ソースが LINE のとき

1 REC LEVEL ◯ **を押す**

現在の設定が点滅表示されます。

例： INPUT LEVEL 1　（点滅）

2 DOWN ◄ **または** UP ► **を押して、「LEVEL 1」または「LEVEL 2」を表示させる**

LEVEL 1：通常はこちらで録音してください。
LEVEL 2：LEVEL 1 では音声がひずむとき。録音レベルを小さくしたいとき。

- お買い上げ時はLEVEL 1に設定されています。

3 SET **を押す**

4 **LINE からの録音をする**
（➡ 92ページ）

お知らせ

- 設定した録音レベルは、ソースを変えたり電源を「切」にしても保持されます。

録音について(ご参考に)

• MDには録音と再生ができる「録音用MD」と再生しかできない「再生専用MD」の2種類があります。録音には「録音用MD」を使用してください。
  · MDには最大254曲まで録音できます。
  · 途中まで録音してあるMDは、空いているところを自動で探して録音します。
  · 録音レベルは自動で調節されます。
  · 録音中に、音量や音質を変えても録音される音には影響ありません。
  · 本機では、モノラル長時間録音はできません。
  · **録音中は、CDドアの開閉、MDの取り出しはできません。**
  · 1枚のMDに違う録音モードの曲を混ぜて録音できます。

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番号がついています。この曲番号を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

• CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。手動でつけることはできません。
• DIGITAL IN、LINEの録音中は、無音状態が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
• ラジオ(FMまたはAM)の録音中は、トラックマークは自動ではつきません(無音状態が3秒以上続いてもつきません)。
  手動でつけることはできます(➡ 89ページ)。

グループとして録音したくないとき

本体の MD REC を押す前にリモコンの GROUP REC を押します。
表示窓に「GROUP REC OFF」が表示され、GR.表示が消灯します。

• グループ録音に戻すときは GROUP REC を押します。
  表示窓に「GROUP REC ON」が表示され、GR.表示が点灯します。

LP2またはLP4で録音したときのご注意

• **LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器で演奏すると音が出ません。**
  このため、LP2やLP4の曲タイトルの頭に「LP:」を本機が自動でつけて区別します。
• 「LP:」はMDLPに対応していない機器のときに表示されます。本機などMDLPに対応している機器では表示されません。
• 付属のソフトウェア「INTERJUKE」を使って転送(チェックアウト)した場合はつきません。

曲タイトルの頭に「LP:」をつけたくないときは

電源「入」のときに TITLE/EDIT を押し続けます。

• 表示窓に「(LP:)OFF」が数秒間表示されます。これで設定ができました。
• LP2またはLP4で録音しても、曲のタイトルに「LP:」はつきません。
• お買い上げ時の設定に戻したいときは、「(LP:)ON」が表示されるまで TITLE/EDIT を押し続けます。
• 停電や電源コードを抜いたときは、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。

CDの曲をアナログ音声で録音するには

個人で作成した音楽用CD-RやCD-RWディスクなどからMDに録音する場合、90、91ページの方法(デジタル録音)では正常に録音できない場合があります。このような場合は以下の方法でアナログ録音してください。

1 本体の MD REC を4秒以上押し続けます。
  • 表示窓に「ANALOG REC?」が表示されます。

2「ANALOG REC?」が表示されている間に本体のマルチコントロールボタンの ▶/II を押します。

録音が始まります。
  • 録音スピードは等速(x1)です。

デジタル録音のきまり

デジタルオーディオとは､デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするオーディオ機器で、CD、MD、CD-R などがあります。これらの機器は音楽信号をほとんど劣化することなく高速で録音（コピー）できます。このため、著作権を保護する規制（SCMS、HCMS）が必要になります。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル・コピー・マネージメント・システム

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03ー5353ー0336（代）

ご注意

- この規定により、本機でデジタル録音した MD から、他の MD にデジタル録音することはできません。
- デジタル録音した CD-R/CD-RW ディスクは、MD にデジタル録音することができません。「SCMS CANNOT COPY」が表示され、アナログで録音されます。

倍速録音に関する規制 (HCMS)

MDは等速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速（２倍速または４倍速で）録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、ふたたび倍速録音することはできません（等速録音はできます）。74 分が経過する前に同じ曲を倍速録音しようとすると、「**HCMS CANNOT COPY**」が点滅し、録音が自動で中止されます。

このようなときは、**数秒間待ってから**(■)**を押してください。**「HCMS CANNOT COPY」の表示が消えます。
そのあと、等速で録音するか、74 分以上待ってから倍速録音してください。
例えば、CDの１曲目を倍速録音した場合、録音が開始してから 74 分間は、そのCDの１曲目を再び倍速録音することはできません。
またCDからMDに倍速録音する場合、録音開始から 74 分以内に合計で 101 曲以上録音することはできません。100 曲までの録音ができます。

Net MD を使う

MD 機器とパソコンの間で曲を転送する仕組みを「Net MD」と呼びます。
あらかじめパソコンを起動しておいてください。

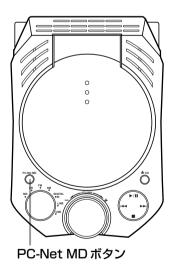
チェックイン／チェックアウト

パソコンに保存されている曲をMDへ転送することを「チェックアウト」、チェックアウトされた曲をMDからパソコンへ戻すことを「チェックイン」といいます。
付属のソフトウェア「INTERJUKE」を使います。
チェックアウトした曲の入っているMDは、本機はもちろん一般のMD機器でも演奏できます。

• Net MDはソニー株式会社の商標です。

パソコンから本機を操作する [コンポコントロール]

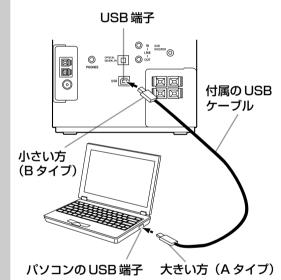
「INTERJUKE」を使って、パソコンから本機のMD、CD、ラジオ、または外部入力の選択などの操作ができます。

PC-Net MD ボタン

準備

（本機の）電源「入」のとき

1 （初めてお使いになるとき）付属のソフトウェア「INTERJUKE」をパソコンにインストールする

• インストールの方法は、「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。
• 2回目以降は、この操作は不要です。

2 付属のUSBケーブルで本機とパソコンをつなぐ

• パソコンが本機を自動で検出します。
• 初めて本機とパソコンをつないだときは、ドライバーをインストールしてください（➡ 84 ページ）。あわせて「INTERJUKE」の取扱説明書もご覧ください。

パソコンが本機を検出しないときは

数秒間待ってもパソコンが本機を検出しないときは、USB ケーブルをつなぎ直してください。それでも検出しないときは、パソコンを再起動してください。

チェックイン／チェックアウトする

電源「入」のとき

1 MDを入れる

2 「INTERJUKE」を起動する

- 詳しくは、「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。

3 本体の PC-Net MD を押す

PC
PC-Net MD

4 「INTERJUKE」のチェックInOutメニューを使って、チェックイン／チェックアウトをする

- 詳しくは、「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。

パソコンから本機を操作する(コンポコントロール)

電源「入」のとき

1 「INTERJUKE」を起動する

- 詳しくは、「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。

2 本体の PC-Net MD を押す

PC
PC-Net MD

3 「INTERJUKE」のコンポメニューを使って、本機を操作する

- 詳しくは、「INTERJUKE」の取扱説明書をご覧ください。

操作をやめたいときは

本体の PC-Net MD を押します。
PC-Net MD表示が消え、パソコンとの接続（コントロール）が解除されます。本体の操作が出来ます。

Net MD使用中の本体の操作

PC-Net MD を押すと本体で操作できるのは、以下の操作のみです。それ以外はできません。

本体

▲CD (▲CD)	：CDの出し入れ（ただし、録音中は不可）
VOLUME	：音量の調節
▲MD (▲MD)	：MDの出し入れ（ただし、録音中は不可）

リモコン

CD DOOR (CD DOOR ▲)	：CDの出し入れ（ただし、録音中は不可）
VOLUME (VOLUME)	：音量の調節
AHB Plus (AHB Plus)	：重低音の調節
BASS/TREBLE (BASS/TREBLE)	：音質の調節
DIMMER (DIMMER)	：表示窓の明るさの調節（ただし、DIMMER1、DIMMER2、DIMMER OFFは表示されません）

ご注意

- チェックイン／チェックアウト中や、パソコンから本機を操作しているときは、USBケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- USBケーブルが接続されていないときに PC-Net MD を押すと「CHECK USB!」が表示されます。
- **チェックアウトできるのは1曲につき3回までです。** チェックアウトした曲をチェックインすれば、再びチェックアウトできます。
- チェックアウトした曲にはトラックプロテクト（➡ 101ページ）がかかります。チェックインする前にその曲を消去（ERASE）するとチェックインできなくなりますので、他の機器も含め、消去しないようにご注意ください。
- PC-Net MD を押すとパソコンの画面に、「コンポのMD[CD]情報を読み取り中です。しばらくお待ちください」が表示されます。MDまたはCDの内容やパソコンによっては、数十秒以上表示されることがあります。

MD/CD のメッセージ

MD のメッセージ

メッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていない MD が入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みの MD に取り換えてください。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲をつなげようとした。 8 秒以下の短い曲をつなげようとした。	MD のシステム上の制約です。 (➡ 101 ページ)
	となりあわないグループをつなげようとした。	(➡ 73 ページ)
READ ERROR	MD が異常 (損傷している)。	MD を取り換えてください。
	UTOC 情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。 トラック数が 254 を超える。	MDのシステム上の制約です。(➡ 101 ページ) 他の録音用 MD に取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■を押して一度停止させてから、本体の▲ MD（取り出し）を押して MD を取り出し、もう一度操作し直してください。
MD NO DISC	MD が入っていない。	MD を入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVD や CD-ROM（ビデオ CD など）をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音・編集しようとした。	録音用 MD に取り換えてください。
DISC PROTECTED	誤消去防止状態になっているMDに録音·編集しようとした。	MD の誤消去防止つまみを閉じてください。(➡ 11 ページ)
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音したMD、CD-RまたはCD-RWのコピーを作ろうとした。	MD デジタル録音の制約です。 (➡ 97 ページ) アナログ入力を使って録音します。
DIGITAL IN UNLOCKED	OPTICAL DIGITAL IN端子がソース機器と接続されていない状態で録音しようとした。	ソース機器を正しく接続してください。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を倍速録音を開始した時点から 74 分以内にまた倍速録音しようとした。(➡ 97 ページ)	著作権保護のための内部タイマーが働いています。数秒間待ってから ■ を押していったん録音を中止してください。その後、等速録音するか、74分以上待ってから倍速で録音してください。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に CD の音声を聞こうとした。	倍速録音中は、CD の音声は聞けません。
MD LOAD ERROR	MD の挿入がうまくいかなかった。	本体の▲ MD (取り出し) を押してMDを取り出し、もう一度挿入しなおしてください。
CANNOT TITLE	MD にトータル 1792 文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトル入力はできません。
CANNOT GROUP	グループに関する情報量の制限を超えている。	それ以上のグループは作れません。
GROUP FULL	100 個以上のグループを作ろうとした。	グループは99個まで作ることができます。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作ってください。 (➡ 67 ページ)
CANNOT FORM	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください。(➡ 67 ページ)
CANNOT ENTRY	現在と同じグループに登録しようとした。	別のグループを選んでください。 (➡ 69 ページ)
CANNOT REC!	CD のランダム演奏を 4 倍速（x4）で録音しようとした。	録音スピードをx1 またはx2にしてください。(➡ 91 ページ)
	USB を録音しようとした。	USB は録音できません。

TR. PROTECTED	Net MDのフォーマットで音楽データが記録された（チェックアウト）曲をDIVIDE、JOINまたは消去をしようとした。	・MDからパソコンへ音楽データを戻す（チェックイン）ことができなくなりますので、消去はしないでください。 ・「TR.PROTECTED」の曲を消去するには 1. SET を押す、2. ENTER を押す これで消去されます。
	本機以外の機器によってその曲が誤消去防止になっている。	録音した機器で編集操作してください。
CHECK USB!	USBケーブルを接続せずに PC-Net MD を押した。	USBケーブルを接続してください。
BUSY NOW!	INTERJUKEでチェックイン／チェックアウト中に PC-Net MD、▲MD、▲CD を押した。	MDに曲を転送中（チェックアウト）、MDからパソコンへ音楽データを戻す（チェックイン）動作中は操作できません。

CDのメッセージ

CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。
CD DOOR ERROR	CDドアが障害物などで正しく開いていない。	もう一度▲CDを押してCDドアを閉じてから障害物を取り除いてください。
CD CAN' T PLAY	演奏できないCDを演奏しようとした、またはキズの多いCDを演奏しようとした。	CDを交換してください。

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。曲番号が255以上になる録音はできません。（最大録音曲数は254曲）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。分けられて8秒以下（SP：標準モード時）の部分ができると、その曲は、「JOIN 機能」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間（SP：標準モード時）の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間が短くなります。

よくあるご質問

MP3は再生できますか？	本機はMP3には対応しておりません。
本機で録音したMDを、MDLPに対応していない他のMDプレーヤーで演奏できますか？	録音モード（➡ 89 ページ）をSPにすればできます。
付属のソフトウェア「INTERJUKE」で他のNet MD機器を使えますか？	「INTERJUKE」は本機専用です。他のNet MDの動作保証はしておりません。 また、他社製のNet MDのソフトウェアで本機の動作保証もしておりません。

故障かな？と思う前に

故障かなと思ったら…
修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	15～17 81 98
MDに録音できない。	MD が誤消去防止状態（つまみが開いた状態）になっている。	MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。	11
放送が雑音で聞き苦しい。	AMアンテナが本体に近づいている。	AMアンテナの位置と向きを変えてください。	15
	FMアンテナが束ねたままになっている。	最も受信状態の良い向きに、ピーンとはってお使いください。	
リモコン操作ができない。本体に近づけないと操作できない。	リモコン受光部との間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	14
	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	
C Dの音声が途切れる。	CD に傷・汚れなどがある。	CD をクリーニングしてください。	10
CDが演奏されない。	CD が裏返しになっている。	CD の文字などの印刷面が上になるように、正しく取り付けてください。	34
CDまたはMDの演奏が始まらない。	レンズに露がついている。	電源を「入」にしたまま、約1～2時間待ち乾いてから使ってください。	9
ブーンという雑音がでる。	本機をテレビのすぐそばに設置している。	本機をテレビから離して設置してください。	—
CDドアを開閉中に音声が出ない。	本機の動作仕様です。	故障ではありません。	12
本体の電源が入らない。（スタンバイランプが消えている）	大きな音量で使用していたため、保護回路が働いた。	電源コードをコンセントから抜き、つなぎ直してください。 適度な音量に下げてご使用ください。	17 23

• 電源を「入」にしたとき、MD部から動作音がします。これは、MD部へ電源を供給するための動作音で、故障ではありません。

本機のリセット（初期化）について

• **上記の処置をしても正しく動作しないときは**
本機は、マイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、**本体のPC-Net MDとマルチコントロールボタンの ►/II を同時に押してください。**

同時に押す

本機がリセット（初期化）されます。
または、電源コードをコンセントから抜き5分程度待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

「ERROR！」が表示されたら

表示窓に「ERROR！」が表示されたときは、本機に故障が発生しています。電源を「切」にしてから電源コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口に修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または104～105ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

102ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	コンパクトコンポーネントMDシステム
型　名	SS-NT1MD
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご　住　所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

★お願い
本機の故障または不具合などにより録音、再生およびCDまたはMDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180		札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659		旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557		北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797		釧路市松浦町3番3号
	帯広S.S.	(0155)24-4493		帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324		函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261		青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521		八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165		弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121		盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773		水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189		秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980		大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873		横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151		仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711		石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279		山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145		酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331		郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991		いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355		会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島S.S.	(024)553-9437		福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル１Ｆ
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１Ｆ
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) 松江S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取S.C.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

1002

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ご参考に

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■MD/CDレシーバー（CA-SSNT1MD）

アンプ部

実用最大出力 30W+30W(JEITA/ 4Ω)
入力端子 <アナログ>
LINE×1系統
LEVEL 1：200mV/48kΩ
LEVEL 2：500mV/67kΩ
<デジタル>
DIGITAL IN 光入力×1、
−23dBm〜−15dBm
（光角型ジャック）
（サンプリング周波数32kHz/
44.1kHz/48kHzに対応）
<その他>
USB ×1
出力端子 <アナログ>
LINE×1系統、250mV/4.9kΩ
スピーカー端子×1系統
適合インピーダンス4Ω〜16Ω
ヘッドホン端子×1
適合インピーダンス16Ω〜1kΩ
サブウーハー端子×1

チューナー部

受信周波数 FM ：76.00MHz〜108.00MHz
AM ：531kHz〜1,629kHz
アンテナ FM ：75Ω不平衡型
AM ：外部アンテナ端子
（ループアンテナ）

タイマー部

タイマー形式 1日2動作（DAILY、REC）
スリープタイマー 10、20、30、60、90、120分
時刻表示 24時間表示

MDレコーダー部

形式 ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音再生時間（ステレオ） 80分（SP）、160分（LP2）、320分（LP4）（MD-80使用）
サンプリング周波数 44.1kHz
音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3（**MD LP**）方式
チャンネル数 2チャンネル・ステレオ
周波数特性 20Hz〜20kHz

CDプレーヤー部

形式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数 44.1kHz
チャンネル数 2チャンネル・ステレオ
周波数特性 20Hz〜20kHz

共通部

最大外形寸法 幅160mm×高さ130mm×奥行240mm
質量 約2.6kg

■スピーカー（SP-SSNT1MD）：1本当たり

スピーカー部

形式 フルレンジバスレフ型、防磁形（JEITA）
使用スピーカー 8.5cm コーンスピーカー
最大入力 30W (JIS)
定格インピーダンス 4Ω
再生周波数帯域 55Hz〜20kHz
出力音圧レベル 81 dB/W・m
最大外形寸法 幅114mm×高さ176mm×奥行174mm
質量 約1.3kg（1本）

■コンパクトコンポーネントMDシステム（SS-NT1MD）

総　合

電源電圧 AC100V(50Hz/60Hz 共用)
消費電力 電源　入（ON）時 34W
待機 (STANDBY) 時 0.8W
(省エネモード時)
最大外形寸法 幅400mm ×高さ237mm ×奥行274mm
質量 約9.5kg

付属品

- スピーカーコード(1.5m) 2
- AMアンテナ 1
- FMアンテナ 1
- リモコン（RM-SSSNT1MD-S） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2
- USB ケーブル 1
- CD-ROM (INTERJUKE) 1

- JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定方法による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー

- CD レンズクリーナー ：CL-CDL
- MD レンズクリーナー ：CL-ML
- 整合器 ：VZ-71A
- オーディオコード ：CN-D110E（長さ 1m）
  CN-2011A（長さ 1m）
- 光デジタルケーブル ：XN-110SA（長さ 1m）

＊別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

索　引

日本ビクターへのユーザー登録

本機をご購入されたお客様にサービスサポートをおこないます。登録されたお客様に、便利に使っていただくための情報、新商品、イベント情報などのご案内をいたします。必ずユーザー登録することをお勧めいたします。

登録は、 インターネット
はがき（ユーザー登録カード）
による２通りの方法があります。
インターネットによる登録をお勧めいたします。

● インターネットで登録する

INTERJUKE のインターネット画面の INTERJUKE ホームページボタンを押すか、Internet Explorer のアドレスバーに下記のアドレスを入力して、表示された画面からたどって表示する「ユーザー登録」ページで登録することもできます。

http://www.jvc-victor.co.jp/audio_w/interjuke/

● はがき（ユーザー登録カード）で登録する

添付の郵便はがきに必要事項を記入して投函してください。

• ユーザー登録の受け付けと共にユーザー登録番号およびパスワードをご連絡いたします。
• E-mail アドレスを記入して頂いた方には、メール連絡も合わせておこないます。

ご注意

ユーザー登録番号およびパスワードは、サービスサポートを受ける際や、ダウンロードサービスをご利用いただく際に必要となりますので、大切に保管してください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
104〜105ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	東京 ☎(03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎(06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

1002 SKMIDEJEM